

旭川市テレワーク導入奨励金による
テレワーク導入・実施事例集
(令和2年 11 月 19 日)



旭川市経済部

はじめに

旭川市では、旭川市中小企業審議会にて平成 29 年 12 月に策定された「旭川市における働き方改革推進に関する報告書」に示された展望に基づき、情報通信技術を活用した場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方である「テレワーク」の推進による就業環境の改善に取り組んできたところです。

一方で、市内事業所におけるテレワークの導入割合は4.0%（令和元年8月1日時点）と活用が進んでこなかったところですが、令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、職場への通勤等を極力避けながら事業を継続することが求められることとなったことから、旭川市では、市内事業所のテレワーク導入を後押しするために、令和2年5月に「旭川市テレワーク導入奨励金」を創設しました。

今般、本奨励金を活用した市内事業所の取組事例を本書のとおり取りまとめましたので、今後のテレワーク導入・実施の際の参考として御活用ください。

旭川市経済部経済総務課

旭川市テレワーク導入奨励金 実施事例

行	企業・団体名称	事業内容	ページ
あ	有限会社 アウトバーン	保険媒介代理業	1
	旭川総合法律事務所	法律事務所	3
	旭川通運 株式会社	運送業	5
	荒木測量設計 株式会社	測量、土木設計、調査に関する業務	7
い	株式会社 E湯	高齢者介護	9
	有限会社 一村米穀店	米穀、灯油小売店	11
う	有限会社 うらら	飲食業及び家事代行業	13
お	有限会社 ALLRIGHT	居宅介護支援事業等	15
き	株式会社 北野社	電気器具販売	17
	有限会社 旭星システム	測量業	19
く	空間倉庫輸送 株式会社	運送業	21
	有限会社 グローバル・保険	保険代理店	23
さ	株式会社 里見土木設計事務所	建設コンサルタント(土木設計)	25
し	株式会社 柴滝建築設計事務所	建築設計・工事監理	27
	株式会社 昇夢虹(しょうむこう)	商業デザイン業	29
す	株式会社 須田製版 旭川支社	総合印刷業	31
そ	株式会社 総北海	印刷業	33
	株式会社 創明建築設計事務所	建築設計・工事監理・構造設計・構造計算・積算・パース他	35
た	第一警備保障 株式会社	警備業	37
	株式会社 大和	不動産業	39
ち	千代田不動産 株式会社	不動産業	41
て	有限会社 デザインピークス	広告デザイン制作	43
と	東武トップツアーズ 株式会社	旅行業 他	45
な	なかせき商事 株式会社	石油製品販売業	47
	永山自動車ボデー工業	自動車整備	49
ね	株式会社 ネクストステップ	パソコン・ビジネス教室	51
ひ	有限会社 ビーインフォー	情報処理サービス業	53
ほ	有限会社 ほほえみゆたか	介護サービス	55
ら	株式会社 ライナーネットワーク	旭川近郊のフリーペーパー「ライナー」の編集・発行	57
る	株式会社 ルシダス	マーケティング戦略コンサルティング	59

※巻末に旭川市テレワーク導入奨励金 交付企業・団体一覧を掲載

(有)アウトバーン

所在地:旭川市忠和7条7丁目
連絡先:0166-76-6030

業種・事業概要

生命保険 損害保険 保険代理媒介業
自動車新車中古車 販売 車検 板金塗装
ロードサービス リフォーム 宅配水



**AUTO BAHN
GROUP**



従業員数

177名

資本金

5,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

弊社では数年前から、誰でもどこでも働けるようにすることを目標に本社スタッフの半数以上のデスクをなくし、フリーアドレスデスクを導入しました。導入の結果、特別問題も起こらず、様々な経費削減につながった為、継続して運用していくこととなった。そんな中、新型コロナウイルス感染症拡大が騒がれ、フリーアドレスデスクではソーシャルディスタンスを確保することが難しくなり、テレワーク導入を決めた。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年7月5日～令和2年8月1日

■利用人数の実績

5名

テレワークを実施した部門、作業概要

保険営業部・・・営業管理

システム部・・・来店型ショップのPCTラブル対応、技術サポート、システム開発等
人事部・・・採用業務

■使用したICTツール、設置費用

ツール:Skype FTPクライアントツール UltraVNC

費用: webカメラ等で約20万円

■工夫したこと

Skypeを活用し、定期的にお互いの顔を見て情報共有をしたこと

テレワークに関する社員の声

元々フリーアドレスデスクでの業務であったこともあり、働く場所が変わることに大きな抵抗はありませんでした。特定の業務に集中することができるので、日頃マルチタスクで行って数日かかっていた作業がほぼ1日で完結する等、効率は非常に良いと感じました。

各拠点webカメラ映像



会議室 web会議対応の為のカメラ、プロジェクター



テレワークの成果

普段紙ベースで行っていた作業を極力PC上で行うようにしたことで結果的に普段の業務のスリム化にもつながった。

スタッフもwebミーティングにも自然と慣れてくれたお陰でweb会議がスムーズに行えるようになった。

テレワーク実施に当たっての課題

スタッフ自宅のネット環境等は問題なかったが、デスク等がないスタッフもあり、腰痛等の体調不良を訴えるものが出ており、自宅以外のサテライトオフィス等でも業務が可能か今後検証が必要である。

システム開発等はシンクライアント端末ではスペックの問題があり、本社内PC及びサーバのリモート接続により業務に当たっているが、速度や処理能力に限界があり、テレワーク実施の際の業務の選定の必要性が浮き彫りになった。

テレワークの今後の活用法、期待すること

現在は社内の情報共有を含めたコミュニケーションがメインであり、社外であってもBtoBのミーティングに留まっている。
これをBtoCに利用できないか検討している。これについては消費者のwebミーティングへの理解や慣れ、つまりは社会にある一定の水準まで浸透しないと難しいと考えているので、もっとテレワークが主流になり、web商談を希望する消費者が増えることを期待しています。

旭川総合法律事務所

所在地: 旭川市3条通9丁目551番地2
連絡先: (0166) 76-1087

業種・事業概要

法律サービス業

当事務所では、個人のご相談はもとより旭川をはじめとした北海道の中小企業、またその経営者をサポートすることに力を入れています。



旭川総合法律事務所
ASAHIKAWA SOGO LAW OFFICE

従業員数

弁護士4名、スタッフ3名

資本金

法律事務所なので、なし



テレワーク導入の経緯・目的

当事務所では、従来から、事務所の業務のIT化や弁護士の事務所外での業務の効率化を進めてきました。その中で、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、緊急事態宣言のような状況となった場合にも、事務所の業務を継続するために、テレワーク規程を整備し、弁護士のみならず事務職員も在宅勤務や事務所外勤務を円滑に行うことができる体制を整えたいと考えました。これによって、平常時においても、生産性の向上、通勤時間の削減、ワークライフバランスの確保等の効果を実現することができます。大企業をはじめとした一般企業においては、積極的にテレワークを導入している中、法律事務所としても後れを取らないように対応していきたい。

テレワークの実施概要

【実施期間】 令和2年8月2日～8月29日

【これまでの実績】 上記実施期間中、一週間で一人がテレワーク業務を実施しました。

【テレワークを実施した作業概要】

- ・各事務職員が担当する書類精査、書類作成業務(裁判所へ提出する報告書、申立書等)。
- ・請求書作成業務。

【使用したICTツール】

試験的実施のため、今回は各従業員が所有しているパソコン、スマートフォン、タブレットを使用しました。なお、全従業員には自宅にWi-Fi環境が整っていることを確認しています。

今後はテレワークでの業務を拡充していくため、リモート会議可能な共用のパソコンを購入することを検討しています。

【工夫したこと】

テレワーク実施前に当日の業務予定の詳細、事務所から持ち出す資料、データを確認しました。また、業務開始前にもテレビ電話やメールで簡単な打ち合わせをすることによって業務内容や検討すること等を確認することができました。

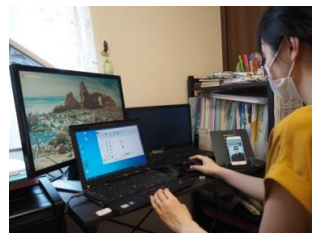
テレワークに関する社員の声

- ・バス通勤がなくなり、混雑したバスに乗ることを避けることができ、コロナの感染リスクを負わずに業務に取り込むことができてよかったです。
- ・一番多忙な朝の時間帯が、通勤時間がないことで身体的にも精神的にも余裕ができました。
- ・通勤時間がなくなり、その分家事等の時間を確保、ゆとりができました。
- ・電話対応や来客対応がない、静かな環境で仕事に集中することができました。
- ・メールだけでなく、テレビ電話を使用して上司に相談、打ち合わせができたので、コミュニケーションや業務上の心配もありませんでした。



業務開始時にテレビ電話で業務内容について打ち合わせ

@事務所



@自宅

テレワークの成果

- ・コロナが再度拡大した場合の準備として、導入したが、事務職員からは、「通勤時間がない分、家事等の時間を確保できゆとりができた。」「電話対応や来客対応がない分、仕事に集中することができた。」等の声があり、働き方を見直すよいきっかけになった。
- ・今後、新型コロナウイルスの第2波、第3波の拡大の場合にも、スムーズにテレワークを実施する準備への一歩を進めることができた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・現在も、裁判実務、法律事務業務は、紙ベースの書類が中心であり、また、非常に厳格な守秘義務を負っている業務である。このような中で、テレワークの前提としてのペーパーレス化や、個人情報の漏洩に対する対策を講じていくことが課題である。
- ・タブレット端末、モバイルPCなどのデバイスを充実させることや、Wi-Fi環境の整備、などのIT面については、相当程度の費用がかかるという課題がある。
- ・導入後、長期間が経過した後にも、在宅での勤務のモチベーションを維持していく方法も課題である。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・他の法律事務所での実施状況についても情報交換をしていきたい。
- ・旭川市内で、先進的な取り組みをしている企業の事例をセミナー等で共有して欲しい。
- ・裁判所の手続自体のIT化を進めて欲しい。
- ・安価なテレワーク用デバイスの普及に期待する。
- ・電子書籍や電子判例検索システムをテレワークにおいても活用したい。
- ・事務所内での業務と在宅勤務のメリットとデメリットを把握したうえで、そのバランスをとっていききたい。
- ・当事務所での実施事例を旭川弁護士会、日本弁護士連合会の業務改革員会にも情報提供し、弁護士会全体でのテレワークの推進をはかりたい。
- ・今後も、利用可能な助成金や制度があれば活用したうえで、テレワークを進めたい。
- ・旭川市自体が他のどの市町村にも負けないIT推進都市になり、インフラを整備することを期待する。

旭川通運(株)

所在地:旭川市永山北2条8丁目14番地1
連絡先:0166-40-1515

業種・事業概要

一般貨物自動車運送事業
鉄道利用貨物自動車運送事業
航空利用貨物自動車運送事業
内航利用貨物自動車運送事業
特別貨物積合せ運送事業、倉庫業、他

 **旭川通運株式会社**



従業員数

158名(R2.11.1現在)

資本金

5,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染拡大を機に、非常時の事業継続等が可能できるようテレワークを導入。

更には業務の効率化、生産性の向上。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年9月3日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、もしもの事態に備えるため導入。

テレワークのみならず、旭川で集まる全体会議を遠方の交通費や費やす時間を考慮し、Web会議で対応を行い効率化を図った。

■テレワークを実施した部門、作業概要

総務、経理部門

■使用したICTツール、設置費用

リモートワーク、ビジネスチャット、Web会議

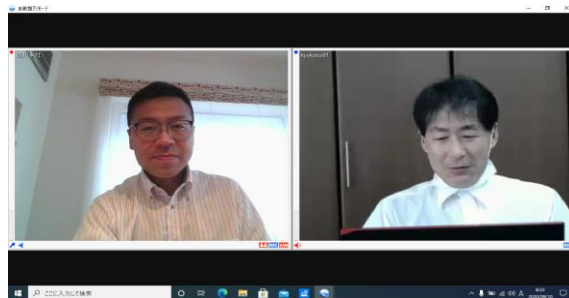
3拠点に専用カメラ、マイク、スピーカ等を購入、費用は約50万円

■工夫したこと

会社のPCを貸与し、セキュリティ対策強化。

テレワークに関する社員の声

- ・自宅では、時間にゆとりをもって、リラックスし、業務にあたれた。
- ・通常1人で業務だが、報・連・相も画面越しであるが、表情を見て話せて安心する時があった。



テレワークの成果

- ・働き方の見直しとできる業務できない業務の仕分けができた。
- ・コロナ禍の状況だから、今まで見えなかった新たな問題や発見ができた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・機器操作への不安。
- ・労務時間管理。
- ・業務内容により、できるものでできないものが存在する。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・顧客ありきだが、受注等のペーパーレス化を期待する。
- ・中・長期的に考慮し、会社のみならず、どこでも業務や勤怠管理、承認確認ができるように柔軟な勤務対応がとれる環境整備。
- ・業務内容のIT化を更に進め、働き方の見直し、効率化を図る。

荒木測量設計株式会社

所在地: 旭川市北門町14丁目
連絡先: 0166-51-0878

業種・事業概要

上川地方を中心に、開発建設部・上川総合振興局・旭川市等より測量、調査、土木設計業務を受注し社会資本整備のための技術サービスを行っています。

従業員数

14名

資本金

1,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

育児・介護を行っていく社員の働きやすい環境作り、今後行われてくるテレビ会議への環境整備等、変わりゆく社会の変化に対応するため、多様性のある働き方、災害や感染症蔓延等の非常時に事業を継続することを目的とする。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年8月2日より

■これまでの実績

感染症の感染リスクの軽減及び多様性のある働き方の今後の取り組みとして、週1回一人のテレワークを実施した。

■テレワークを実施した部門、作業概要

測量調査課よりICTツールの取り扱いに精通している者を始めに選任した。

測量業務の外勤作業後の、図面作成、成果品作成等の内勤作業を会社ネットワークと自宅PCをつなげて行った。

■使用したICTツール、設置費用

VPNルーター2台(12,500円×2台)を購入した。

使用したPCは、既存のPCを使用した。

■工夫したこと

実施者の都合のよい日程、作業内容で実施できるようにした。

テレワークに関する社員の声

■実施社員

- ・在宅でも作業に集中して仕事に取り組むことができた。
- ・仕事のオン・オフが難しい。

■その他の社員

- ・自宅に在宅勤務できる部屋がない。
- ・現場作業が多い時期はテレワークは出来ない。
- ・今後、育児・家事に協力しやすくなる。

自宅



自宅



テレワークの成果

- ・実施者は一名であるが、在宅勤務でも作業内容を選べば作業効率を落とすことなく進めるかことが確認できた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・会社として勤怠管理が難しい。
- ・テレワークを行うと、外部(官公署)からの電話対応は一度会社が行わなければならない。
- ・テレワーク作業中に分からないことがあった場合、近くに聞く人がいなく、かえって解決に時間がかかる。
- ・職種上グループでの現地作業が多くを占める仕事が大半であり、テレワークに適し作業の効率化が計れる部分の検討が必要となる。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後テレワークを行う設備及び社員を増やして、誰もが在宅勤務が可能になるようにし、勤務時間を含め柔軟なテレワーク環境を構築し社員一人ひとりが柔軟な働き方が出来るように環境整備したい。
- ・測量会社の使命上、災害等が発生した場合には被災地の現場での作業を行うため在宅勤務出来る事は少ないが、感染症蔓延等の非常時には事業継続に期待できる。

株式会社E湯

所在地：旭川市豊岡13条6丁目4番8号
連絡先：0166-35-0003

業種・事業概要

地域に根差した高齢者福祉事業を目指し、介護保険制度における居宅介護支援、通所介護、訪問介護、訪問看護、福祉用具貸与・販売、老人福祉法における有料老人ホームの運営を手掛けています。

従業員数

132名

資本金

2,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

以前より職員の働き方改革（ライフワークバランス）について検討しており、勤務時間の見直しなど様々な改革を行ってきましたが、今般の新型コロナウイルス感染拡大を機に、非常時の事業継続が可能になるようにテレワークの導入を新たに決定しました。業務の知的生産性の向上、優秀な人材の確保及び従業員の離職抑制、ワークライフバランスの更なる向上を目的としています。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年8月～

■これまでの経緯

職員のワークライフバランスの実現と新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスクを少しでも軽減させるため、実施部門合わせて最低1人以上が週1回以上取り組むことにしました。

実施にあたって、実施目的や手段、秘密保持等に関するルールを決めました。

■テレワークを実施した部門・作業概要

居宅介護支援課、福祉用具貸与事業部といった、事務系業務を多く含む部門で実施しました。

事務作業、打ち合わせ、顧客の問い合わせ対応等を在宅勤務を実施しています。

■使用したICTツール、費用

試験的に実施するために、専用のノートパソコンを2台、プリンターを2台を購入しました。

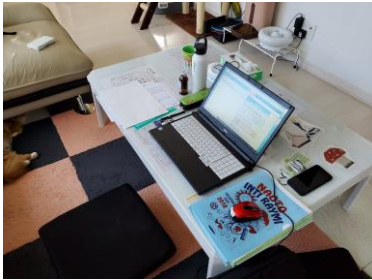
■工夫したこと

導入当初は、実施できる部門や人員に限られるため、実施の方法や不明点などの対応のための担当者を配置しました。また、実施者には専用のノートパソコン及びプリンターを貸与しました。

テレワークに関する社員の声

- ・自宅で仕事することで、気持ちにゆとり(余裕)ができた。特に体調がすぐれない時などは、出勤しなければならないという精神的ストレスがなくなった。
- ・コロナ禍での新しい働き方として、介護業界では最先端を実行しているように思う。
- ・月末など、パソコンへの情報入力作業が多い時期には、業務に集中でき仕事ははかどることがわかった。
- ・通勤時間がなくなることで、業務後すぐ家事ができるなど、家事や育児と仕事の両立がしやすい環境になると思う。

自宅



ノートパソコン
プリンター
スマホ



テレワークの成果

- ・コロナ対策がきっかけで導入を試みた。実際のところ会社での勤務より事務作業の量が増えるなどの実務的な生産性の向上にはあまり結びつかなかったようだが、通勤時間がなくなったことで、「仕事が終わってすぐに夕食の準備ができるからいい」といった、朝の家事や夕方の家事、子育てとの両立における精神的負担の軽減に寄与できたことが最も大きな成果と言える。
- ・今回のテレワークの導入がきっかけで「仕事のやり方を見直すきっかけになった」という声が多く、今後の業務改善に寄与できたことも成果と言える。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・自宅にWi-Fi環境があるかないかで、接続状態に若干の差が生まれ、作業効率と作業量に差ができてしまい、成果を心配する声が上がった。
- ・今回は半日勤務を多く試してみたが、個人情報の取り扱いの観点や作業効率を考えると、一日勤務の方がよいように思われる。
- ・持ち帰る書類等が多くなり荷物が増えたうえに、プリンターが重くて大変だったとの声が上がった。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後感染の拡大がどうなるかわからない中、事業継続が可能となるように、テレワークという柔軟な勤務体制を整備していきたい。
- ・どうしても個人宅の電気を消費することになってしまうため、基本的に会社で十分な充電をして機器を持ち帰ることにすることで、職員の経済的負担感の軽減に繋げていきたい。
- ・職員のライフスタイルに配慮し、「永く勤めたい」と思える職場環境を整備することで、今後の新規職員採用へのアピールポイントの一つとしたい。
- ・社内のIT化整備へのきっかけとなり、紙記録、紙保存を少しでも減らしていきたい。
- ・課題も多かったが、今後も実施していくことで、未実施部門への実施検討や業務改善に繋げていきたい。

(有)一村米穀店

所在地: 旭川市神楽5条3丁目2-9

連絡先: 0166-61-2673

業種・事業概要

大正6年創業、雑穀小売店の営みより始まる。
現在は玄米仕入れ自家精米販売と灯油燃料配送を2本柱として2店舗にて営業中。
店頭・配達販売はもとより、今後はネット販売にも力を入れるべく、時代のニーズに沿う販促方法を模索検討しています。



従業員数

2名

資本金

500万円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの感染拡大によるリスク軽減と非常時の継続的なサービスの提供を目的として、テレワークを試験導入した。

店頭と配達が主の当社において課題となっているネット販売について、この機会を有効活用しネットの売り上げを上向きに改善したい。

更には、期待できる事業継承者が入社したことにより、今までの経営内容を改めて確認・改善する良い機会とするため。

テレワークの実施概要

◆実施期間

令和2年7月26日～

◆これまでの実績

新型コロナウイルス感染拡大の対策として、当社でも出勤せず出来る仕事はないかと模索し、従業員のうち最低1人は週1回以上取り組めるように試験導入することになった。

実施に先立ち、実施するに必要となる手法やセキュリティ上注意すべきことなどのルール整備が必要との指導のもと、その為の基盤となる社内規程を定め、家族経営の当社において勤務に対する大まかな決め事を社員と文書で確認することが出来た。

◆テレワーク実施作業

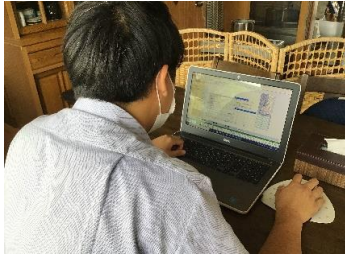
主に在宅勤務。PCによる経理等の事務作業、販売促進に関するPOP等の作成とミーティング。

◆使用したICTツールと費用

初めての取り組みであるテレワークで、試験導入なこともあり、ツールについては現在使用しているPCやタブレットで十分に対応出来た。また、支店にて同時期に取り付けた防犯カメラを本店と連携することにより、短時間のミーティングにも対応出来たのは良かった。今後はWEBミーティングを充実させるためのマイクやカメラなどを購入したいと考えている。

テレワークに関する社員の声

- ・自宅での勤務ということで、通勤時間が省かれ効率的に作業を進めることができた。
- ・新型コロナウイルス感染の不安もあり、自宅で勤務できるのは有難かった。
- ・WEBミーティングなど初めての体験で、うまく出来るのか懐疑的だったが、想像よりは情報共有も出来て今後の可能性を感じた。
- ・WEBミーティングなど、機器の接続や使用に戸惑う事があり、50代以上の者は、なかなか馴染めず苦勞した。



自宅で、
帳簿



自宅でWEB
ミーティング

テレワークの成果

当社は、店頭販売と配達業務が主の典型的な小売店で、テレワークを行うことは困難と思われていたが、テレワーク講習などを受け市の担当者に指導を受けるなどして、当社でもテレワークを行える作業が少なからずあることを実感した。

今は試験導入ではあるが、今後もコロナ対策には勿論のこと、新たな営業形態として色々な観点から模索・検討・実施を勧めていきたい。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・当社の形態として、テレワークが出来る業務は少なく、まだまだ検討の余地がある。
- ・社員の少ない当社で、テレワークが出来る、機材操作可能な人材の育成が不可欠。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・定期的なテレワークによって、社員の働き方・時間の有効利用・コロナ対策に有効。
- ・テレワーク可能な業務を更に探り、全員でテレワーク利用が出来るよう拡大していきたい。
- ・社内でのテレワーク利用の運用がスムーズに進めば、取引先とのWEB会議的な事にも有効利用できるのではないかと期待している。
- ・加えて、顧客とのコミュニケーションツールとしても有効なネット動画などの作成も手掛けられるような取り組み方が出来るよう努力していきたい。

(有)うらら

所在地:旭川市4条通19丁目右1号

連絡先:0166-31-7857

業種・事業概要

市内において、洋食イタリアンというジャンルの飲食業を営んでおります。



従業員数

3名(令和2年7月現在)

資本金

300万円

テレワーク導入の経緯・目的

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、非常時の事業継続が可能となるようテレワークを導入した。その他、業務生産性の向上、職員の通勤時間の削減、ワークライフバランスの向上、優秀な人材の確保等にも資するものと考えている。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年7月5日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減のため、全体で8割の出勤率の低減を目標として、各部で最低1人以上が週1回以上取り組むこととした。実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で、業務のペーパーレス化やクラウド化を進めた。

■テレワークを実施した部門、作業概要

広報・経理等の一般的な業務

出納管理や給与計算等の一般経理業務や、販売項目のABC分析。広報においては、自社WEBサイトの管理や自社公式SNSの編集作業や販売品目の画像処理等

■使用したICTツール、設置費用

試験的に実施するため、勤怠・業務管理やWEB会議、ビジネスチャットツールは無償のものを使用しました。その他テレワーク専用のノートPCを5万円×2台。タブレット5万円×2台購入しました。

■工夫したこと

規程を詳細に作り込み、全従業員に周知した上で、テレワーク導入担当を選任し、実施の方法や不明点等も、テレワーク実施前に実際のテレワーク環境にてリハーサルを行いました。また、自宅にインターネット環境が無い従業員に対しては、ポケットwifi等の通信機器も事業者負担で導入支給致しました。

テレワークに関する社員の声

- ・社内規程の整備により、安心して在宅勤務を行うことができた。
- ・通勤時間がなくなり、朝の煩雑さから解放され身体的ストレスがなくなった。
- ・時間にゆとりが出来て仕事に集中する事が出来、家事との両立も不安なく出来て良かった。
- ・働く時間の選択ができるので、家族の看護や突然の入院等になった場合などでも仕事の両立が可能になると思う。



テレワーク作業中



テレワークの成果

- ・コロナ対策として臨時の活用を予定していたが、従業員から「働きやすい」、「今後も継続して欲しい」という反応があり、好評だった。
- ・働き方を見直すきっかけとなり、今後はフレックスタイム制の導入などを今後検討の余地が見出せた。
- ・通勤しているものも含めて、勤怠や実施業務の管理をITで行うことにより、職員の動きが正確に掴めるようになるであろうが、今後継続してこれからの状況を見極めて行きたい。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・新たに導入したICT機器や業務で使用するアプリケーションの操作への慣れが必要であるので、テレワークを行う従業員は勿論の事、管理する側もそれぞれ熟知が必要である。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の感染拡大に備えて、テレワークによる柔軟な勤務態勢を整えていきたい。
- ・雇用者一人一人のライフスタイルを考慮し、「働き続けたい」と思える職場環境構築の一環として、今後もより使いやすいルール、設備を導入し、職員の離職防止の他、育児・介護離職をした優秀な人材や新卒者の採用に当たってのPRに活用していきたい。
- ・勤怠・業務管理のIT化を進め、適正評価のための素材として活用したい。
- ・一定の課題もあるため、実施した者へのヒアリングを行い、現場の声を踏まえてテレワークを更に洗練させていきたい。
- ・当社は飲食業であり接客業でもあるので、完全にテレワークで業務を行う事は出来ないが、顧客からの電話対応なども、今後はテレワークを使った対応なども検討の余地が在る事を再認識出来た。

有限会社ALLRIGHT

所在地: 旭川市10条通19丁目
連絡先: 0166-73-8173

業種・事業概要

介護保険法に基づく、居宅介護支援事業などを行っています。介護保険の利用や、その他介護に関する相談の受付、各種サービスやサービス事業所の紹介、またケアプラン作成の代行など、ケアマネジメント業務全般を行っています。

従業員数

13名(R2.10.1現在)

資本金

600万円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの流行を鑑み、リスクの軽減を図る為。ケアマネジメント業務は、業務の都合上、重症化し易い高齢者と接する機会も多く、また利用者のご自宅や市内の各種事業所へと赴く機会もあります。感染のリスクを少しでも下げる為、可能な限り3密を避ける為、デスクワークなどの業務は事業所に出勤しなくともテレワークにて自宅からでも行えるように整備する必要があると考えました。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年7月6日から

■これまでの実績

新型コロナウイルス対策として、接触機会を少なくする為、各自、月の勤務時間の3割を目標にテレワークを奨励しています。令和2年9月は職員8名が平均して2割程度テレワークを行っています。

■実施部門

居宅介護支援事業、福祉用具販売貸与

■導入したシステム

リモートアクセス対応のVPNルータ3台、ビデオチャットシステム導入、リモートアクセス・リモートデスクトップ接続出張設定等一式。95万円ほど。

■工夫したこと

テレワーク勤務を行うに辺り、利用し易いよう、口頭又は電話を基本とし、運用として柔軟に対応出来るよう、LINE等SNS、googleスプレッドシート等での申請も可能としました。前日までの申請があれば当日の勤務をテレワークに変更する事を許可しています。また、従業員の自宅の通信環境・パソコンのセットアップも行っています。

テレワークに関する社員の声

- ・自分が感染源になってはと気が気で無かったので、少しでも軽減されるのであれば助かる。
- ・利用し易いので助かります。
- ・子供が居るので自宅から仕事ができるのはありがたいと思います。
- ・パソコンの事は詳しくないので、設定してくれるのは良い。操作は慣れるしかない。
- ・時間に余裕が出来、やりやすい。
- ・半日テレワークなども出来るので、午後からは家で仕事なども出来て助かっている。



テレワークの成果

- ・新型コロナウイルス対策として、3密回避等の感染リスク削減の助けになっている。
- ・感染者・濃厚接触者が発生した場合、従業員が自宅待機等の状態になってしまった場合でも業務が継続出来るよう整備された。
- ・働き方改革の一環としても今後も継続する予定で、多種多様な働き方や各種休暇休業の相談受付など、働きやすい職場作りの一助になった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・テレワークを行うにあたり、事情によっては社用を貸し出す事はあるものの、基本としては利用希望者の私物PCを利用して貰っているが、各従業員の自宅の環境や知識には偏りがあり、個人によっては機器のトラブルが頻発し、またセキュリティ維持の為に、定期的な確認や教育などが必要となってくる。機材・システムの管理部門の負担が増大する。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、テレワークの利用を推奨し、安定的な事業の継続を図っていききたい。
- ・新型コロナウイルス終息後も、導入したテレワーク制度は継続し、テレワークも含めた柔軟な働き方に対応して、働きやすい環境を整備していききたい。
- ・これを機にデジタル化、ペーパーレス化を進めていききたい。
- ・従業員のICTに関する更なる理解が必要と感じた為、社内教育として進めていく必要がある。
- ・希望に応じて導入し、従業員が利用し易いよう運用にて敷居を下げているが、問題が出て来る事もあると思われるので今後の課題としたい。

株式会社 北野杜

所在地: 旭川市神楽2条8丁目1-7-8

連絡先: nomura@kitanomori.info

業種・事業概要

電気製品販売
ICT機器設置販売

株式
会社 北野杜

KITANOMORI

従業員数

3名

資本金

10, 000, 000円

テレワーク導入の経緯・目的

旭川市近郊のネットワーク機器保守業務を行っており、社内、社外、お客様先であってもほぼネットワークを使用する業務の為、感染症やウイルスなどで外出が憚られるような時に業務を継続するため。

テレワークの実施概要

実施期間	2020-07-05より
実施者	SE業務担当者 一名
設置費用	YAMAHA VPNルーター購入 7万円 Microsoft 365 Business Basic 契約 設置作業は自社

テレワークに関する社員の声

電話もクラウドPBXに変更することによって会社の電話対応必要なくなれば

倉庫、郵便物以外社内に留まらなくても可能となりそう。



社内



自宅

テレワークの成果

感染症だけではなく、大雪や大雨の天候要因でも事業遂行が可能となる。

テレワーク実施に当たっての課題

通信費やテレワーク機器に関する費用面の会社の負担（現在は個人負担）

公的機関にかかわらず契約他に押印を要求されること。

テレワークの今後の活用法、期待すること

旭川市に早く光10Gの高速通信や5Gのインフラそして公衆wifiが供給されることによって

企業誘致は難しくとも個人ならば全国からの移住も進むと思います。

(有)旭星システム

所在地: 旭川市末広6条1丁目2-1

連絡先: 0166-74-4401

業種・事業概要

測量業としてあらゆる自然災害に備え、対応できるよう社会インフラの整備を行っており、東日本大震災後は福島県へ出向し、災害復興にあたっている。社会貢献活動として、おもちゃライブラリーの活動に貢献している。

従業員数

8名

資本金

300万円



テレワーク導入の経緯・目的

もともと子育て中の母親を支援する企業として、従業員の多くが子育て中の母親であり、子どもの体調不良時や行事で突発的に休まなくてはならない状況があった。そのような中で今回の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、再流行時スムーズに自宅勤務に切り替えられるようにするため、そして今後子どもの体調不良時や入院時にも慌てずに仕事を続けられる体制を作るため、テレワーク導入に至った。実際にリモートワークをした時の課題点を見つけ、改善することにより、有事長期にわたりテレワーク導が必要となったときに必要な環境が整えられているように準備していく。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年7月1日～

■これまでの利用人数等の実績

従業員の中でも子育て中の母親である者3名がテレワークをスタートさせた。実施に先立って勤怠管理の方法や自宅での勤務方法、勤務に使うもの(パソコン等)の整備の充実化も図った。

■テレワークを実施した部門、作業概要

営業、企画、経理などの部門でテレワークを実施。電話による営業、イベントの企画・フライヤー作成、各種申請物準備などを行っている。

■使用したICTツール、設置費用

試験的に勤退管理システムを導入(試験期間は無償)、パソコンを従業員人数分整備した。

■工夫したこと

テレワークを実際にスタートする以前に、勤退管理システムの導入説明、営業日報作成、勤怠管理システムが上手く活用されなかった時のためにエクセルでの勤退管理表作成を行い、それぞれの従業員の業務把握を徹底できるようにした。

テレワークに関する社員の声

■良かった点

- ・自宅だと子供も落ち着いていて一人で遊んでくれているお昼寝中に仕事がはかどった。
- ・子どもの体調不良で休まなくてはならなくても自宅や入院先で仕事ができるため、収入的・精神的にも助かった。
- ・子どもを連れての出勤準備や出勤時間にかかる時間もすべて仕事に充てられてよかった。
- ・感染症の不安なく仕事できた。

■悪かった点

- ・会社から持ち出せない資料関係の仕事を考えていかななくてはならない。
- ・目で見えて確認する作業や説明のいる仕事は在宅で行うのが難しい。

0歳の子供を持つ従業員。
在宅ワーク中の様子→



テレワークの成果

- ・感染症や子供の体調不良時にテレワークを実施できたことで、従業員が仕事を辞めなくて良かったこと、各従業員に仕事を振り分けて最低限会社を回すことができた。
- ・子育て中の母親を応援する企業としてさらに環境を整えることができた。
- ・子どもも親も自宅でリラックスして作業を行えると好評であった。
- ・小さい子供がたくさんいるので、コロナウィルス感染症に限らず感染症等の流行時も従業員間でうつしあわずにすむ環境を整えることができた。
- ・作成物を印刷ではなくメール添付で確認作業、訂正作業を行ったため、結果として資源削減することができた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・今後の再流行や子供の体調不良時にスムーズにテレワークを実施し、さらに通常勤務と同じ、またはそれ以上のパフォーマンスができるよう、指示する側される側共に確認、工夫、慣れが必要である。
- ・在宅にて個々で作業しているときに発生した問題に対して、作業をストップしてしまうのではなく、問題解決能力を養っていく必要がある。
- ・完全に在宅ワークをしなくてはいけなくなった時のため、現時点で在宅だと厳しい仕事内容をどうしていくかを考える必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

テレワークをする際の従業員の不安な点を解消、また在宅では厳しい作業も工夫や新たなツール導入などで可能にし最大限にテレワークを活用できるようにしていきたい。

従業員全員が受け身ではなく自ら考えて効率的な仕事の方法・やり方で行い、問題解決をしていき、在宅でもしっかりと成果を出していく。

病気や災害、子供の体調不良時にいつもと変わらずに仕事ができ、雇う側も雇われる側もストレスなく仕事を継続できるようになること。

今後新たに従業員を雇う際や、従業員が産休などで長期休暇になる場合でもテレワークを実施していくことで女性の新たな社会活動の場を整備していくことに繋げたい。

ペーパーレス化につながり、経費と資源削減すること。

空間倉庫輸送(株)

所在地:旭川市永山2条16丁目5-5
連絡先:0166-74-5428

業種・事業概要

- 一般貨物自動車運送事業
- ・2t車～大型車、トレーラーを使用しての運送業務
- ・主に法人様従業員の転勤・引越業務
- ・マタニティグッズ、菓子等の保管、倉庫業務
- ・大型施設等の除雪・排雪業務

従業員数

30名

資本金

1.000万円



Kukan

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、既存のシステムを使用しテレワークを比較的容易に行えることから試験導入した

今後は育児や介護、急な看病等で出勤ができなくなった従業員への対応や優秀な人材の離職を防ぐことへも繋げられるようにする

また、自然災害等で出勤ができない場合においても業務活動を遂行できるようタスクを管理・見直す良い機会としたい

テレワークの実施概要

■実施期間

2020年6月21日～

■これまでの利用人数等の実績

旭川営業所1名

■テレワークを実施した部門、作業概要

内勤事務員

・顧客対応

・日報整理

■使用したICTツール、設置費用

IP-PBX

ノートPC

モバイルWi-Fi

各クラウドサービス 総額約200万円

■工夫したこと

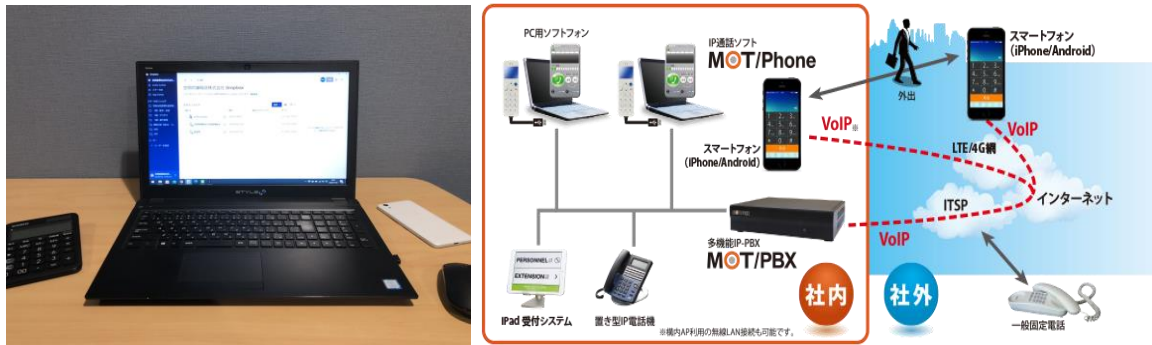
IP-PBXを利用した顧客電話対応や配送前の事前コール

クラウドサービスを利用して社内と情報共有し運転日報等の作成やデータ整理

電子FAXでの受信で依頼書等の管理を行った

テレワークに関する社員の声

出勤前、後の育児の忙しさが解消され、ゆとりをもって業務にあたれた
新しい動作を覚えることもなく普段通りの業務と変わらず行えたが、会話をする機会がなく
少し寂しかった



テレワークの成果

IP-PBXを利用しテレワーク先でも外線着信を受電でき、出社せずとも業務にあたることができた
構築済みの既存システムを利用して行えたので、新たな導入コストは安価に抑えることができ、新たに必要な知識もなく指導を容易に行えたため、職員の負担も軽減できた

テレワーク実施に当たっての課題

残業を抑制する指導力、労務管理
外線着信時の子どもの会話、ペットの鳴き声

テレワークの今後の活用法、期待すること

今後も積極的にデジタル化・クラウド化しだれでもテレワークできる仕組みづくりをしていき子育てに協力できる企業に発展していきたい
費用の助成を期待したい

(有)グローバル・保険

所在地: 旭川市春光4-4
連絡先: 0166-54.4350

業種・事業概要

保険代理店

取り扱い: 損害保険
生命保険

従業員数

4名

資本金

1,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

IT機器活用(キャッシュレス・ペーパーレス化)による業務見直しを模索中にコロナウィルス感染症の発生・感染拡大防止が急務となりテレワーク導入に至る。

テレワークの実施概要

- 実施期間: 2020. 6. 22～
- 利用人数: 当面1名(今後拡大予定)
- テレワーク実施部門: 営業社員
- 使用したICTツール: ipad/iphone
- 設置費用: ipad: 1,112,000円(3台)/iphone: 532,000円(5台)
- 工夫したこと: 工夫というよりタブレットとスマートフォン同時に導入の為操作に慣れることと機能の習得に試行錯誤しながら活用している。

テレワークに関する社員の声

現在は1名の実施となっていますが、ICT機器の活用に慣れて、応用できるようになると、他の社員もテレワーク実践に加われると思います。まずは、自宅でも、営業の出先でも顧客先でも色々な情報・データ活用ができ大変便利に感じています。



テレワークの成果

代理店業務を行う中で、社内間の連携、保険会社とのミーティング、研修会をスケジュール化する上で、場所と移動時間の考慮が必要でしたが、いつでもどこでも連携が可能になり、時間のロスが大幅に減少しました。

テレワーク実施に当たっての課題

ICT機器への接続ルール(呼びかけ→反応)を簡便にして、お互いの顔を見合わせてのミーティングや会話へ進む段取りにまだスムーズにいかないのが、機器のセッティング等をさらに熟練できるよう経験が必要。

テレワークの今後の活用法、期待すること

まだ、テレワークを始めたばかりなので、活用法や期待を持つことよりも慣れることで精いっぱいです。(便利さは実感できてます。)

(株)里見土木設計事務所

所在地:旭川市緑が丘東5条2丁目
1-9

業種・事業概要

土木設計業務全般の業務を行っていますが、最近では農業土木の分野が主体です。旭川市内をはじめ、道内外の会社からも業務を受注しており、携わった業務は北海道開発局の局長賞や部長賞の受賞に貢献させていただいております。



従業員数

3名

資本金

1,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

旭川という地域性から、冬季の交通事情が悪い場合や台風・大雨等で通勤リスクが高い場合には、従来から在宅での業務を推奨してきました。

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、万一にも社員やその家族に陽性患者が出ても会社として業務がストップしない体制を作るため、リスク管理の一環として本格的にテレワークを導入することとなりました。

テレワークの実施概要

■実施期間 令和2年7月1日～

■これまでの利用人数等実績

社員3人がそれぞれの都合で週に1回以上のテレワークを目指した。それに合わせて社員の負担を軽減するため、パソコンは会社が購入・支給し、自宅インターネット維持費として毎月5,000円支給すること等の就業規則改正を行った。

■テレワークを実施した部門、作業概要

主にCADによる設計図面の作成を行う。会社と自宅のデータのやり取りは無料のクラウドサービスを利用し、USB等でのデータの持ち出しを禁止した。

■使用したICTツール、設置費用

最新版セキュリティソフト、最新版Office2019、会社で使用している各種ソフトが入ったノートパソコン4台を購入・支給した。電話やメールで解決しない場合にZoomで打ち合わせや会議を行える体制とした。クラウドサービスはOneDriveを採用した。

■工夫したこと

Zoomは使用しなくても差し支えないため、定期的にあえて使うようにして操作を忘れないよう心掛けている。

テレワークに関する社員の声

- ・社内規程の整備により、安心して在宅勤務を行うことができました。
- ・実質的に自宅のパソコンが新しくなったので良かった。
- ・在宅で1人で仕事する場合、なかなか仕事モードになりづらく、集中して作業できない。
- ・今年から台風や吹雪の時は通勤しなくていいため、安心である。

@社内にてZoom打ち合わせ時



@自宅



テレワークの成果

- ・まだ導入して間もないため、明確な成果はみられないが、今後の社員の働き方を見直すきっかけとなれば良いと考えています。
- ・いざというときに通勤しなくても各自が在宅でも仕事ができる安心感があります。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・全員が在宅勤務の場合、繁忙期のデータのやりとりや能率低下を招く可能性があります。
- ・3か月実施してみて、在宅勤務の場合、一日中 誰とも会話しないこともあり孤独感があるとの訴えがあります。
- ・新たに導入した機器操作やシステムへの慣れが必要で、継続的なテレワーク実施を行う必要があります。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の感染拡大への備え、および働き方改革の一環として、テレワークによる柔軟な勤務態勢を整えていきたい。
- ・雇用者一人一人のライフスタイルを考慮し、今後もより使いやすいルール、設備を導入し、社員の離職防止の他、育児・介護離職をした優秀な人材や新卒者の採用に当たってのPRに活用していきたい。
- ・更なるペーパーレス化の実現に繋がることを期待したい。
- ・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。
- ・一定の課題もあるため、社員へのヒアリングを行い、現場の声を踏まえてテレワークを更に洗練させていきたい。

業種・事業概要

建築の企画・計画・設計・監理・追跡調査業務
環境・再生可能エネルギー活用計画・報告業務
建物に関する長期事業計画業務
企業コンプライアンス対応業務

従業員数

25名

資本金

10,000,000円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス等の感染症の流行化でも事業をとめることなく社内での図面作成等の業務や施主、現場事務所等とのテレビ会議などのミーティングができるよう今回検討実施した。

テレワークの実施概要

■実施期間 2020-06-01より

■実施者 設計業務担当者

■設置費用 VPNルーター接続、RDP接続

テレビ会議用 WEBカメラ、WEB会議用スピーカー

合計25万円前後

テレワークに関する社員の声

実施社員は以前より設計業務の意匠の作業等をおこなっていたのでVPNで社内PCに接続でレンダリング作業を行いつつ図面作成を平行で行うなどテレワークには比較的相性が良かったと感じています。



社内作業



自宅テレワーク作業

テレワークの成果

感染症だけではなく、大雪や大雨の天候要因でも事業遂行が可能となる。

仮に今年コロナ等感染症の第二波がきてもテレワークの準備ができている為、定形業務に関しては遂行できると考えている。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・通信費や自宅内PCや仕事環境は自費でまかなう部分大きい。
- ・VPNルーターの能力等が全社展開の時に不足するかもしれない。

テレワークの今後の活用法、期待すること

当社のようなものにとって設計業務の仕事さえあれば、テレワークの相性は非常に良いので旭川市、北海道に環境整備をしていただければ、デザイン事務所の人材の今後に可能性が期待できます。

また育児を機に離職してしまうことに対して、今後福音となるのを願います。

(株)昇夢虹

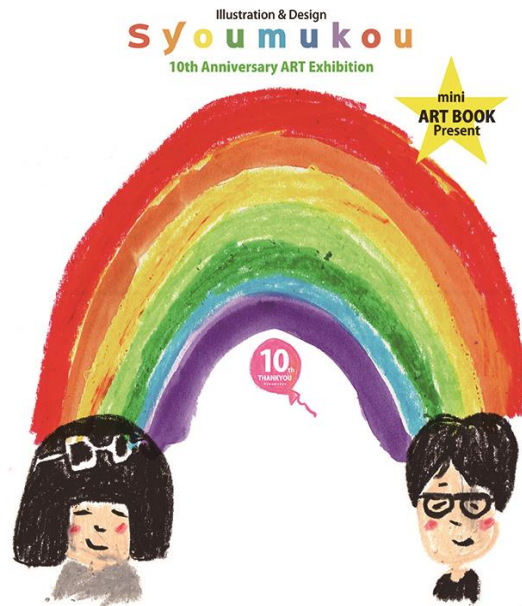
所在地: 旭川市緑が丘東1条3丁目1-6
連絡先: 0166-68-2004

業種・事業概要

2007年よりグラフィックデザイン会社を運営。主に道内企業、市町村、学校、団体などから依頼を受け、印刷物のデザインやイラストを受注制作している。イラストを得意とし、依頼内容に応じてカメラマン等の外部提携を行い、あらゆる要望に応えている。

従業員数
1名

資本金
600万円



テレワーク導入の経緯・目的

モバイル勤務は従来より導入していたが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、体制をより明確にするためにテレワークを導入した。現在は従業員数が1名であるが、将来的に人員増になった場合に備え、整備をするという側面もある。職員の通勤時間の削減やワークライフバランスの向上はもとより、デザインという職業の特性上、決まった時間と場所よりも集中と緩和を職員自身が自由にコントロールすることで、よりクオリティの高い制作ができるという考えである。このことから、場所を選ばず仕事ができる環境整備として、テレワークは大いに取り入れて行きたいと考えている。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年8月9日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場（2社でシェアしているため複数人が勤務）での感染のリスク低減のため、全体で8割の出勤率の低減を目標とし、週1回以上取り組むこととした。実施の前には、目的・手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時の就業規則を制定した上で、業務のペーパーレス化やクラウド化を今までよりもさらに進めた。令和2年9月末までに本格的な体制を整える予定である。

■テレワークを実施した部門、作業概要

職員が1名なので、スムーズに実施することができた。

デザイン制作作業、顧客との打合せ対応等を行う在宅勤務の他、出張先ではノートパソコンを携行し、宿泊先のホテルでも業務を行った。取引先とは主にzoomでWEB会議を実施している。その他、図書館や公共で利用できるスペース、カフェなど在宅勤務以外のテレワークも実施している。

■使用したICTツール、設置費用

勤怠・業務管理やWEB会議、ビジネスチャットツールは、zoomプロのライセンス（月額2,000円）を取得し、時間制限なく使用できる環境を整えた。その他、ミニマイク（2,480円）、動画撮影用スタンド2種各1台（三脚タイプ999円、首かけタイプ1,299円）を購入し、テレワークツールを整備した。

■工夫したこと

詳細な規程を作成し職員に周知した。職員の通信費用の一部を事業経費として計上し実施者の負担軽減を図った。必要なツールは職員と相談した上で整備を進めた。

テレワークに関する社員の声

- ・社内規程の整備(テレワーク実施)により、安心して在宅勤務ができた。
- ・コロナの感染リスクを負わず、安心して業務に取り組めた。
- ・30分強の通勤時間がないことで身体的ストレスはないが、出勤に慣れているのでリズムをつかむのに少し時間がかかった。
- ・従来よりモバイル勤務を行なってきたが、より働く時間や場所が自由に選択ができるので、リラックスした精神状態で制作意欲も高まると思う。
- ・遠方の顧客や取引先との打ち合わせは、リモートでも事足りることが分かった。複数の場所から集まっての会議も問題なく、自社で発行できるアカウントがあるので積極的なアプローチも可能。

自宅にて



社内にて



外回りにて



テレワークの成果

- ・今までも、テレワークの前段的な取り組みを行なっていたが、コロナ対策として、さらに働き方の考えを吟味する機会となった。
- ・職員からは、ICTツール(マイクやスタンドなど)購入の要望があり対応、より業務がスムーズになったとの感想だった。
- ・勤怠や実施業務の管理は従来よりITを活用してきており、どこにいてもリアルタイムで職員の動きは把握できているが、より具体的に実施規程を設けることで、テレワークへの認識が強まった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・在宅勤務時では、労働時間と休憩時間の境目を自分で管理することがなかなか難しい。
- ・通常の勤務時よりも話しをすることが少なくなるので、タイミングを見ながらLINEやzoomでのコミュニケーションが大切であると思う。
- ・モバイル勤務は、Wi-Fi環境が整っていないところでの作業が難しいため、場所の選定が課題である。
- ・ノートパソコンが古くなってきているので、新しいパソコン機器の導入時期を検討している。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の感染拡大に備えて、従来よりも更にテレワークによる柔軟な勤務体制を整えていきたい。
- ・スムーズなコミュニケーションを行うために共通言語を意識したペーパーレス化実現に繋がることを期待したい。
- ・ICTの活用スキルを平準化できるように期待したい。
- ・職員のライフスタイルを考慮した職場環境構築の一環として、IT機器の入れ替えを行い、トラブルなくスムーズに使える設備導入を行いたい。
- ・これから職員を増やす場合も考慮し、育児・介護など個人のライフスタイルに合わせた働き方を提唱している企業として、さらにテレワークの環境整備を進めたい。
- ・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。

株式会社 須田製版 旭川支社

所在地: 旭川市忠和5条8丁目3番1号
連絡先: 0166-62-2266(代表)

業種・事業概要

印刷(チラシ、パンフレット、カタログ、ポスター、雑誌など)、製本、宣伝物の企画制作、イベント企画、POP・パッケージ制作、出版編集、Web制作、CD-ROM制作、情報処理、デジタルサイネージ、動画制作、ドローン撮影、電子書籍ポータルサイトの運営、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの各種メディア活用、市場調査・分析



従業員数

97名 ※2020.10現在

資本金

4,800万円

テレワーク導入の経緯・目的

- ワークライフバランスを実現し、育児・介護等と仕事との両立を支援すること
- 災害や感染症蔓延(新型コロナウイルス感染症)等の非常時に事業を継続すること
- 業務に応じ就業場所を柔軟に設定することにより、業務効率を向上させること
- 会社の雇用機会を創出すること

テレワークの実施概要

■テレワークの対象業務

- ・デザインの作成・編集に関わる業務
- ・WEBシステムの構築・保守・管理に関わる業務
- ・動画の編集に関わる業務
- ・その他、会社が適当であると認めた業務(例: 電話やテレビ会議システム等を活用した顧客対応)

※事前に、在宅勤務許可申請書・許可書を記入する

■実施期間: 最短1日～最長1ヶ月

■テレワーク利用: 8名程度

■ICTツール

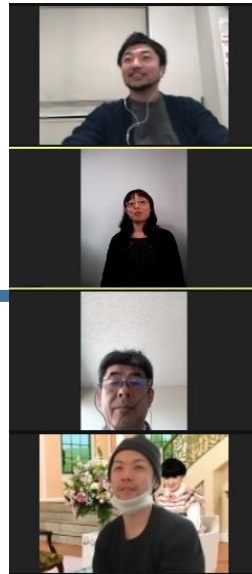
・Chatwork ・Zoom ・iPhone、iPad、MacBook(PC) ・Adobe CC ・beat access など

■工夫したこと

テレワークスタッフと毎朝ビデオ会議を行う(コミュニケーションと業務目標設定)

テレワークに関する社員の声

- ・自宅環境を整備することで、とても集中できる
- ・育児などで以外に作業の分断が多い
- ・慣れない作業環境のため、腰が痛くなる
- ・大容量データの送受信がストレス



テレワークの成果

- ・無料のICTサービスや既存システムを活用することで、導入経費をかけずにテレワークを実施することができた。
- ・いざという時に、生産性を維持しながら業務を続けられることを確認できた。

テレワーク実施に当たっての課題

今回テレワークを実施した部署は、常時パソコンを使用する業務内容だったため、導入がとてもスムーズに行えた。
今後は、他部署での導入方法を検討中。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・旭川市独自のワーケーション推進制度などを期待します。

株式会社総北海

所在地:工業団地2条1丁目1-23

連絡先:担当 今

業種・事業概要

オフセット印刷機によるカラー印刷

社内の主な職種

- ・営業(受注活動、見積作成、各種提案)
- ・データ作成(原稿や支給データから作成)

従業員数

75名

資本金

4500万円



テレワーク導入の経緯・目的

もともとデータ作成の業務の一部は在宅で行われていました。また従業員の中に親の介護をしている者も増えてきて、制度としてテレワークを整備する必要性を感じていました。

地域差もありますが、今回のコロナの影響で東京支店はテレワーク中心の勤務に一気にシフトしました。そのため本社の営業部門もやり方によってはテレワークにシフトしていけるのではと考えて試験的に取り組んでみることにしました。

またデータ作成部門においてもネットワークインフラが強化されてきたので、設備さえ整えば在宅に移せる仕事も増えるのではないかと思います試すことにしました。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年8月6日～

■これまでの実績

東京支店ではコロナ以後は営業がテレワーク中心になっていたが本社の営業は通常通りだった。そこで8月中に最低1名はテレワークを実施するという目標を立てて取り組んだ。

■テレワークを実施した部門、作業概要

まずは営業部門で実施をした。お客様を訪問する必要がある場合以外は、通常社内で行っていた見積りや資料作成などの業務を自宅で実施した。またお客様や自社工場とのやり取りも携帯電話やZOOMなどのツールを利用して行った。

生産部門においては社内設備や原稿類の関係で難しかったが、IT担当者に週1回のテレワークを目標に取り組んでもらった。IT関連の業務はテレワークで支障は無かった。

■使用したICTツール、設置費用

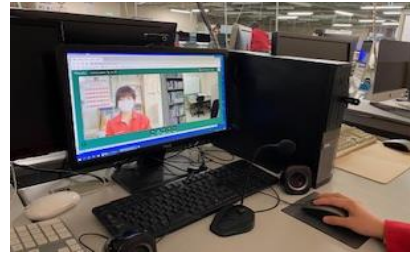
端末は新たに導入をしなかったが丁度基幹システムのネットワークを強化したため、月々の回線使用料のランニングコストが高くなった。また今後社内のデータ制作部門のテレワークを進めるために新たなファイアーウォールを設置した(約50万円)。

■工夫したこと

以前から就業規則に定める必要を感じていたがそれが後回しになっていた。今回はこれを整備する目的でテレワーク導入の取り組みに手を挙げた。

テレワークに関する社員の声

- ・通勤時間が削減されて、時間をより有効に使うことができた。
- ・家族と三食一緒にすることができた。
- ・他の人から呼び止められずに業務に集中できるが、その分仕事のコミュニケーションがとりずらくなっていると感じた。
- ・家族がまだテレワークに慣れておらず、日中に気を遣わせている感じがした。



テレワークの成果

- ・制作部門で検討していたリモートによる業務を進めていくきっかけとなった。
- ・今回の申請をきっかけに就業規則でテレワークの規則を整備できた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・会社側から見えない部分での労務管理をどのようにしていくのか。
- ・各家庭におけるインターネットのインフラや設備について、今後世の中の変化とどう対応していくのか。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・介護や育児による離職をしないで、働き続けられる環境を用意することができるのではないか。
- ・居住地に限定されない働き方ができるのではないかな。
- ・個人個人のライフスタイルに合わせた新しい雇用形態が作れるのではないかな。

(株)創明建築設計事務所

所在地:旭川市9条通12丁目
連絡先:0166-21-8886

業種・事業概要

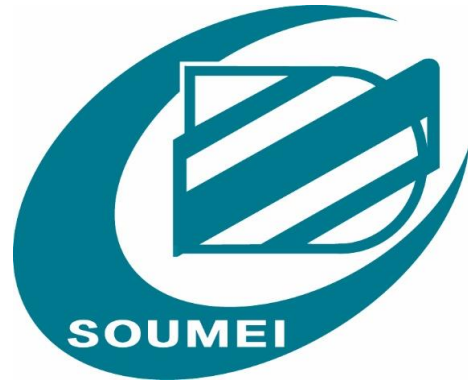
建築の総合コンサルタント業務をはじめとして、建物に関します企画、立案、設計、積算、工事監理、定期点検、既存住宅状況調査、パース作成等を手掛けさせて頂いております。

従業員数

10名(令和2.4.1現在)

資本金

1,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、災害や感染症蔓延時のような非常時に、感染拡大のリスクを減らし、事業継続が可能となるようテレワークを導入した。その他、業務生産性の向上、職員の通勤時間の削減、育児・介護等と仕事との両立を支援する等、テレワークにより柔軟な働き方を整えることに活用できるものと考えている。

テレワークの実施概要

◆実施期間

令和2年7月9日～

◆これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、社内での集団感染のリスク低減のため、社内で最低1人以上が週1回以上取り組むこととした。実施に先立って、実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で、テレワーク可能な人員、業務を選定、令和2年7月9日より、1名が実施している。

◆テレワークを実施した部門、作業概要

設計部門の1名が、パソコンを使用し、設計図作成及び修正、書類のチェック、計算業務等を行った。遠方に在住している方との、設計に関するWEB会議等、在宅勤務以外のテレワークも実施した。

◆使用したICTツール

拠点間接続を利用したサーバー接続及びインターネットライセンス認証を利用。

◆工夫したこと

労務規定を作成し、全社員に周知した上で、テレワーク実施者を選任し、実施の方法等を詳細に確認した。

テレワークに関する社員の声

- ◆新型コロナウイルス感染症のことを気にしなくても良いので、その点は安心して仕事にとりくめた。
- ◆同僚とのコミュニケーション、来客が来た場合の対処等、不安要素がある。
- ◆通勤時間が不要になり、その分時間にゆとりができた。
- ◆今後、仕事と、育児や介護との両立を考えた場合、柔軟な働き方が、ある程度可能になると期待が持てた。
- ◆テレワークをする人の割合が多くなった場合、会社の活気がなくなるような気がした。

テレワークの成果

- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、休業せずに、事業を継続するめどがたった。
- ◆テレワークをはじめたことが、働き方を見直すきっかけとなり、柔軟な働き方を検討する契機となった。
- ◆育児や介護との両立を考え、憂慮していた者が、柔軟な働き方もありなんだということを改めて考え、将来的に期待が持てた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ◆年齢の高い職員の中には、機器の操作への不安がある者もいる。慣れが必要である。
- ◆労務管理に不安を覚える者もあり、会社全体に浸透させるには時間がかかるものと思われる。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ◆今後の新型コロナウイルスの感染拡大等に備えて、事業を継続する計画の一環として、テレワークによる柔軟な勤務体制を整えていきたい。
- ◆社員一人一人のライフスタイルを考慮し、働き続けたいと思える会社、働き続けられる会社を目指し、希望者は誰でも円滑にテレワークを実施できるよう設備環境を整備していきたい。
- ◆課題もあるので、テレワークを上手く取り入れ、働きやすい環境づくりに活用できればと考える。

第一警備保障株式会社

所在地: 豊岡10条5丁目4番3号
連絡先: 0166-33-1911

業種・事業概要

総合警備業、交通誘導警備、施設警備、
イベント警備

従業員数

30名

資本金

1千万円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス蔓延、地球温暖化、気候変動にともない、
会社に来られない可能性が高くなるので、その場合でも業務
円滑に行うため。

テレワークの実施概要

新型コロナウイルスの感染拡大によってイベント警備激減したことを受け、売上げを確保するために新規事業の実施などを検討していたところ。テレワークにより新型コロナウイルスの感染リスクを避けながらインターネット、ズーム、ラインなどの無料ITツールを使用した情報収集を行っている。今後はテレワークによる営業、教育、警備料金等々の学習、研究等々の実施を検討する。

テレワークに関する社員の声

- ・テレワークの実施が難しい現場に出てる社員に対し申し訳ない気持ちがある。
- ・コロナの蔓延や時代の進歩に合わせて、テレワークは必要だと思う。
- ・警備一筋なので、テレワークの実施方法について、よくわからない。交通誘導警備では、テレワークはできないのではないかな。

テレワークの成果

テレワークを行うことにより、さまざまな情報が簡単に手に入ることが分かった。「やる気、モチベーション上がる。世界感が広がる。」といった社員の反応があった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・テレワーク実施の意義や活用イメージを伝え切れず理解が不足している社員が一定数存在する。
- ・現在の仕事や生活で精一杯という社員が多く、新たなことを実施するに当たっての抵抗感を解消しないと社内への浸透は困難。
- ・テレワークを実施するために電気通信環境の不具合が合った場合に、業務が全くできなくなるという懸念がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

コロナのほか、天変地異など何が起こるかわからない状況では、多様な方法論が必要なので、その一つとしてテレワークは有効なものと期待しています。

(株)大和

所在地:旭川市3条通10丁目707番地1
連絡先:0166-23-5588

業種・事業概要

不動産の売買・賃貸の仲介や賃貸物件の管理・修繕を中心に、既存住宅のリフォーム、アパート経営等、幅広い分野での事業展開を行っている。

従業員数

4名

資本金

3,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの影響により今後社会全体でテレワークによる勤務形態が普及していく事と予測し、導入を決めた。その他、導入により、コロナウィルス感染拡大防止のみならず、業務生産性の向上や働き方の選択肢が増えるといった観点で仕事と生活の調和を図ることが期待できる。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年8月19日～9月9日

■これまでの実績

テレワークが自社に及ぼす影響力が不透明な部分があった為、試験的に一人の従業員が取り組む運びとなった。実施に先立って「テレワーク就業規則」を制定した上で、社外においても、社内と同等の業務ができるようにシステム環境を構築した。令和2年8月19日より4週間、各週水曜日を基準に実際にテレワークを実施した。

■テレワークを実施した職種、作業概要

普段からバックオフィス業務を行うことが多い事務職から実施した。

業務内容としては主にノートPCを用いて各種図面の作成や売り出し情報の更新などを行った。

また、社内共有フォルダに社外からアクセスできるシステムを構築したことにより、作成した書類をタイムリーに社内従業員が使用することが実現した。

■使用したICTツール

試験的な実施であった為、ノートPCはもともと保有していたものを使用した。

その他、以下のものを購入した。

会社にかかってきた電話を社外で対応できるよう「電話主装置PLATIA II」とスマートフォン用アプリ「Mliner2」導入。(40万円)

社外においても会社の共有フォルダにアクセスできるよう「ギガアクセスVPNルーター」を導入。(13万円)

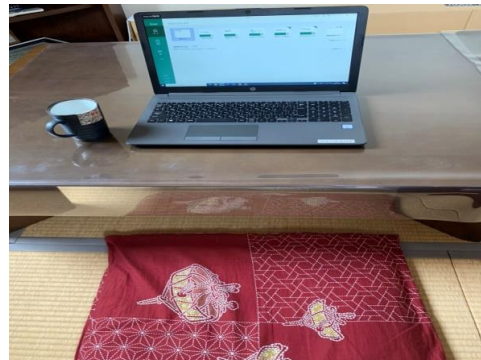
テレワークに関する社員の声

- ・他人と接触する機会が無いので、感染リスクを負わずに安心して業務に従事することが出来た。
- ・通勤時間が無くなった事で、時間にゆとりができて、心身共にストレスが減った。
- ・一人での業務ということで、他社員とのコミュニケーションの希薄さが懸念されたが、ビデオ通話等を通じて不自由なく意思疎通を図る事が出来た。
- ・社内における集団の中で行う作業と、自宅等のリラックスできる環境でやる作業とでは、集中力の持続が違った。
- ・今まで敬遠していたテレワークであったが、実際に行っているテレワーカーをみると、不自由なく実施できていたようなので、テレワークに対する意欲が湧いた。

社内にて



自宅にて



テレワークの成果

- ・テレワークによるワークライフバランスの最適化が生産性の向上をもたらした。
- ・災害や感染症からのリスクを分散することが出来た。
- ・通勤の必要が無いことから、通勤で疲弊することなく仕事にすぐに取り掛かることが出来た。
- ・国の方針でもある「働き方改革」ともリンクし、新たな働き方の指針となるテレワークの導入に成功しているという実績が、企業の先進性を示すエビデンスとなった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・若年社員に対する教育に関しては、対面での指導が必要であり、社内のテレワーク普及の大きな課題であると感じた。
- ・「上司等に確認する」という業務フローのままテレワークを行うと、電話や電子メール等で確認しなければならず、業務効率が低下する場合がある。
- ・できる限り詳細に意思決定ルールを定めることで「単独で決定できる」仕組みに変更する必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後まだまだ続くであろうコロナ時代に備えて、事業計画の一つとして、テレワークによる柔軟な勤務体制の確立を目指す。
- ・一定の課題があるため、実施した者へのヒアリングを行い、現場の声を踏まえて、テレワークをさらに洗練していく。
- ・雇用者一人一人のライフスタイルを考慮し、今後もより使いやすいルールや設備を導入し、職員の離職防止の他、育児・介護離職をした優秀な人材や新卒者の採用に当たってのPRに活用していきたい。
- ・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。

千代田不動産(株)

所在地: 旭川市3条通15丁目
連絡先: 0166-26-9922

業種・事業概要

旭川市内のRCマンション、木造アパート、一戸建、飲食店ビル、月決駐車場などの賃貸経営・管理、賃貸仲介、売買仲介・買取、リフォーム事業、コンサルタント業務など、地域に密着した不動産業務全般を取り扱いしております。

従業員数

4名

資本金

1,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

働き方改革の一環として、また非常時の事業継続を可能とするため、テレワークの導入を検討していたところ、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、その防止策のひとつとして導入を決定し、まずは試験的に実施いたしました。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年6月1日～

■これまでの利用人数等の実績

まずは試験的に、各社員それぞれが週1回以上実施することを目標とし、テレワークを開始しました。令和2年7月末日までに全社員が実施しました。

■テレワークを実施した部門、作業概要

総務、管理、経理部等において、物件詳細の登録、概要書の作成、各種ポータルサイトへの物件掲載、その他事務作業のほか、経理業務や社員間の打ち合わせ、会議などを実施しました。

■使用したICTツール、設置費用

試験的な実施のため、WEB会議システムやビジネスチャットツールなどは、無償のものを使用しました。その他通信回線費用は事業者負担としました。

■工夫したこと

在宅勤務規定及びテレワーク業務時のセキュリティ対策や実施時のルールを策定し、各社員に周知した上で、まずは現状のICT環境ツールなどを使用して実施できる業務からはじめ、可能な範囲で少しずつ業務を増やしていくようにしました。また、機器の操作に不慣れな場合や不明点については即座に対応するようにし、皆が同等にテレワークができるよう努めました。

テレワークに関する社員の声

- ・新型コロナウイルス感染予防ができ安心して仕事ができます。
- ・移動時間の短縮により、時間に余裕ができ、ワークライフバランスの向上につながると思っています。
- ・一人での業務のため集中できる反面、時間の使い方の工夫やオンオフの切り替えが今まで以上に必要だと感じました。
- ・今までは直接顔を合わせて話し合う場(会議)が必要だと思っていたが、Web会議でも十分に話し合いや意見交換ができることがわかりました。



テレワークの成果

- ・以前より検討していたテレワークであるが、課題や問題点がたくさんあり、導入に二の足を踏んでいたが、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、試験的に実施をしてみて、課題や問題点が多少なりとも解消するにいたり、また社員にも概ね好評であり、皆の働き方に対する考え方が少し変わったように感じます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に対し、休業せずに事業を継続することができました。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・テレワーク社員の勤怠管理を含む労務管理に多少の不安を感じます。
- ・テレワーク社員の業務内容、進行状況等の把握がしにくく、他社員との相談や報告など、コミュニケーションがスムーズに行えない難しさがあります。
- ・すべての業務がテレワークにできるものではなく、出勤者と在宅勤務者との業務内容に差が出てしまうのではないかと懸念があります。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の新型コロナウイルス感染症の拡大やその他非常時の事業継続に備え、テレワーク日数を増やすなどの態勢を整えていきたいです。
- ・今後は、社内業務の取り組みだけでなく、お取引先様等との打ち合わせなどにも、ICTの活用を増やしていきたいと思っています。
- ・テレワーク社員に対する労務管理の不安を解消するために、管理システムの活用や新たな通信機器の導入を検討しております。また、今後はさらに、テレワークに関する課題や問題点等を解消すべく、環境整備や社内規定の改善などに取り組んでいきたいと考えています。

(有)デザインピークス

所在地: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館4F
連絡先: 0166-22-4771

業種・事業概要

広告会社と連携をし、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどの媒体広告のデザインや、各種ネット広告、SNS、ホームページなどのデザイン。ポスター、カタログ、パンフレット、チラシなど各種印刷物、看板など屋外広告物のデザイン。商品デザイン。地域、企業、学校、店舗などのブランドデザイン。BtoB、BtoC、CtoC及び行政と市民などのあらゆる関係性を向上させるためのコミュニケーションデザイン、各種プロモーションの企画デザインをする。



従業員数

8名(2020.08現在)

資本金

3,000,000円



テレワーク導入の経緯・目的

- 今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、非常時の事業継続が可能となるようテレワークを導入。
 - 業務生産性の向上、職員の通勤時間の削減、ワークライフバランスの向上、優秀な人材の確保等にも資するものと考えている。
 - 「企業ブランド・イメージの向上」、加えて従業員の仕事に対する「満足度と意欲の向上」につなげるための手段として採用。
 - ゆくゆくは、テレワークの導入と併せてオフィスのフリーアドレス化を目指す。
 - 北海道のような雪が多い地域で在宅勤務に切り替えれば、無駄な長時間通勤を避けることも可能。
- 本人や家族に病気が発生した時は、しばらく出社できない場合があり、このような時も在宅勤務制度があれば、体調が良かった時点で在宅勤務を開始できる。

テレワークの実施概要

■実施期間

2020年6月1日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減のため、全体で8割の出勤率の低減を目標として、最低1人以上が週2回以上取り組むこととした。実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で、業務のペーパーレス化やクラウド化を進め、2020年6月末までに、全職員の4割程度が実施している。

■テレワークを実施した部門、作業概要

コピーライティングや企画担当者を中心に実施。

作業、打ち合せ、顧客の問い合わせ対応等を行う在宅勤務の他、取引先訪問とのzoom会議で、デザインやサービスの説明を行ったり、現場の確認を行ったりするなど在宅勤務以外のテレワークも実施。

■使用したICTツール、設置費用

QNAP Systemを導入することで、外部からテレワークするための設備を導入。デザインデータのように大量の情報や記録を蓄積したり、共有・再利用したりするときに力を発揮。特に、「社外の相手と大容量のファイルを共有したい」といったニーズがあるときに、同じシステム上でファイルをリアルタイムに共有・共同編集できれば、民間のファイル転送サービスなどを使う必要がなく、効率アップにつながる。(370,000円)

■工夫したこと

定期的に出社従業員や上司とzoom会議を開き、作業状況をはじめ、テレワークでの問題点や解決点などを協議。

実施の方法や不明点等の問い合わせに対応した。

また、実施者には、専用のPCを貸与するとともに、自宅の通信費用の一部を経費として支給し、実施者の負担軽減を図った。

テレワークに関する社員の声

メリット

- 集中して仕事ができ、成果の向上がはかれる。
- 家族との時間や自分の趣味や余暇などの時間が増えるといった時間効率化に関するメリットを感じている。
- ストレスが減り、仕事に対する集中力や成果、創造性などに好影響を与えている。
- 多様性のある働き方を選べる。

デメリット

- 仕事上のコミュニケーション量が減り、ホウレンソウ(報連相)がしづらい。
- 仕事のON/OFFの切り替えがしづらく長時間労働になりがち。
- 書斎や自室がないため仕事モードになれない。
- 会社で働くとき以上に精度を高めなければとプレッシャーを感じる。



テレワークの成果

- コロナの感染拡大に対し、休業、解雇を行わずに、事業を継続することができた。
- 働き方を見直すきっかけとなり、フレックスタイム制の導入やペーパーレス化が検討されはじめた。
- ムダな時間の排除により、デスクワークが確実に減った。
- 今後の働き方に新しいバリエーションが増えることで、社員それぞれのスタイルに合った働き方が可能となった。
- テレワークを導入する上で、業務の「成果」管理が重要になるということは、同時に「役割」の管理・評価がしっかりできる環境になった。(時間管理から役割管理への移行)
- 在宅勤務という働き方の手段は変えたとしても、これまでと同様に一定量の成果物の提出さえ義務づけられれば、職場で仕事する状況となんら変わりはないとわかった。

テレワーク実施に当たっての課題

- テレワークによる新しい働き方は、マネジメントが非常に困難になってくるため、リーダーの人事評価がしにくい。
- テレワークの拡大により従業員同士が顔を合わせる機会が減ることで、コミュニケーションの頻度が減り、チームワークに支障をきたしてしまうことへの対応。
- テレワーカーとオフィスの社員との間に不公平感が出ることの解決。
- 情報漏洩対策としてのICTツールやテレワーク用のツール(ノートPC、タブレット等)を導入する経費の負担大。
- テレワークで周りに社員がいない中で働く人の孤独感や、チームから外されているように感じる不安からくる精神的な健康を害するリスクを見逃しかねない。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- 一定の課題もあるため、実施した者へのヒアリングを行い、より効率的なテレワークを実行していきたい。
- これまでイメージできなかった問題の発見は、今後の働き方改革を進めるチャンスとしたい。
- フリーアドレス(固定の席を決めずに、自由に席を選ぶことができる制度)を同時に導入することで、備品やオフィスペースなどを削減できるため、長期的なコスト削減を可能にしたい。
- テレワークの導入により、他地域の人材活用やクライアントとのコミュニケーションを促進することで、仕事の幅を広げたい。
- テレワーク環境が整備されることによって、企業の魅力が高まり求職者からの応募が増える効果も期待したい。
- いつでも・どこでも・誰とでも働ける働き方の変革によって、社員のフットワークが軽くなることで、他社や個人との連携が進み、クオリティアップへの可能性に期待したい。
- テレワークを導入することにより「生産性の向上」「外部環境への変化」「人材確保」「BCP(業務継続)対応」という4つの経営課題の解決を期待する。
- 社員の自律性が高まってほしい。

東武トップツアーズ(株)

所在地: 旭川市1条通8丁目
連絡先: 0166-26-3306

業種・事業概要

旅行業



従業員数

2,539名

資本金

30億円

テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナ感染防止に向けた取り組み
働き方改革の一環

テレワークの実施概要

実施期間

本格始動は令和2年5月以降、新型コロナ感染が落ち着くまで(添乗繁忙期は例外)

利用人数

4月までは8名中2名くらいしか実施していなかったが5月以降は8名全員が実施
(7月後半からは内勤者1名は実施困難)

実施した部門

営業部門・管理職

使用したICT

Timeproによる労務管理(費用不明) ZOOM(費用不明)

モバイルPCを使用

工夫したこと

雇用調整による休業者とテレワーク者、出勤者をうまく振り分けしなかった
テレワーク者は朝礼をZOOMによるリモート参加とした

テレワークに関する社員の声

通勤時の感染リスクが減り安心した
準備・段取りをしっかりとしなければならず、計画的に仕事をしなければならない
休校時期は子供の面倒をみながら仕事のできたので奥さんに感謝された
奥さんがパートを休まずにすんだ
WEB朝礼の際 操作がよく分からず発言ができなかった
内勤者はテレワークはやりづらいのでつらい



テレワークの成果

仕事の段取りが良くなった
働き方改革の考えにも合致しワークライフバランスが良くなった
ベテラン社員も積極的に実施したためICTに慣れ使いこなせるようになった
同業他社では実施していないため今後の新規採用においてアピールポイントとなる

テレワーク実施に当たっての課題

市内で通信状態が良くない地域がある
まだ自身から計画的にテレワークの日を決められない者もいた
テレワークでの成果が必ずしも各人の処理能力どおりではない
管理職から業務量を設定しその成果を求めるべきであった

テレワークの今後の活用法、期待すること

まだ地方支店では利用頻度が低いので、今回の旭川での取り組みが全国の地方支店の新しい支店の在り方になっていけばいい。成果がしっかり出るようになれば第一段階として営業の机をフリーアドレス制にし全体会議日以外は出社人数を常に半分以下にしたい。そこが定着し業績も維持できれば事務所を減床することができる。その原資で障害を持った方で出社はしづらいがPC能力に長けたような方を営業補助として採用し企画者作成などに任せるとWinwinの関係が作れる。

なかせき商事(株)

所在地:旭川市末広4条3丁目3-18
連絡先:0166-73-4318

業種・事業概要

石油製品卸・小売販売／潤滑油販売／
ガソリンスタンド経営／便利屋FC加盟店



従業員数

77名

資本金

4,560万円



テレワーク導入の経緯・目的

導入経緯

新型コロナウイルスの感染が拡大傾向となった際に、移動や外出の自粛要請に応じ営業訪問活動を自粛、事務所内での3密を避けるために導入を決定。

目的

業務の効率化、生産性の向上、コスト削減、災害や感染症の拡大時に事業と業務の継続を図ることを目的とした。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年4月20日～

■これまでの利用人数の実績

旭川営業推進部 全8名

■テレワークを実施した部門、作業概要

旭川営業推進部:営業職、配送職、事務職員が週に1回～2回程度実施。

在宅勤務中はグループウェア(サイボウズ)を活用する。

対外的には電話対応とし、緊急時は自宅より得意先を往訪することとした。

また自己研鑽として、読書や資格取得のために勉強等の時間としても活用する。

一日の業務はサイボウズにて毎日報告を行う。

■使用したICTツール、設置費用

サイボウズ(スタンダードプラン)、WEB会議(ZOOM:月額2千円)、ファイルストレージの導入を検討しているためPC3台を購入 30万円。

■工夫したこと

テレワーカーの孤立を防ぎ、社員同士のコミュニケーションを今まで以上に向上させるためサイボウズ内に部門専用ページをつくり、自由に情報共有ができるようにした。

テレワークに関する社員の声

- ・事務職でセキュリティの関係上データを持ち出せないことが不便だった。
- ・自分の時間と業務の時間の境目が難しいかった。
- ・通常時の業務の改善点が見つかった。
- ・育児に参加できるようになった。
- ・残業が減った。
- ・時間、環境のストレスが減った。



社内



自宅



会議

テレワークの成果

- ・新型コロナウイルス感染拡大緊急事態宣言のなか、職場での3密を避け、感染防止をすることができた。
- ・災害時、ウイルス感染拡大等の緊急事態が起こった場合のBCPとしての対策となった。
- ・自己研鑽の時間ができ、資格取得や、教養を高めることができた。
- ・会議や打ち合わせをオンラインで実施することで、移動時間の短縮やそれに伴う経費の削減につながった。
- ・サイボウズを活用することにより、各自のスケジュールや1日の行動を把握することができた。また緊急を要さない案件は社内メールにて要件を伝えるようにした。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・ICT活用に慣れていない職員が敬遠したり、古い考え方の人がまだまだいて、理解浸透するのに時間がかかりそう。
- ・テレワークをどの程度の範囲で実施するかなど、明確な基準を設けることが必要。
- ・テレワーク時の人事評価が難しいため評価基準が必要。
- ・自宅でのテレワークは拘束時間と私的時間の区別がつきにくく、メリハリをつける工夫が必要。
- ・業務内容によりテレワークを実施できる業務とできない業務があり温度差がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・他部署にもテレワーク導入を検討してもらい、今後の事業の在り方や効率化を図っていきたい。
- ・会議や打ち合わせ等は新型コロナウイルス感染拡大の予防の観点からも、ZOOMを活用し、テレワークで実施するようにしたい。
- ・お客様との商談等は、重要な時以外はオンラインでコミュニケーションを図るようにしたい。
- ・全員がテレワークを実施できるよう、クラウドやネット構築を期待する。
- ・役員、管理職がテレワーク実施に関し、積極的に指導、講習等実施し社員への理解、周知をしてほしい。
- ・テレワーク自体がより良いものとなるように常に検討、改善、工夫をしていきたい。
- ・新規雇用の際、テレワークを導入している会社ということをアピールし、働きやすい環境と優秀な人材を確保できるようにしたい。

永山自動車ボデー工業

所在地: 旭川市永山3条14丁目3-3
連絡先: 0166-48-1709

業種・事業概要

自動車整備業

従業員数

3名

資本金

なし



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、少ない従業員ではあるが、業者の方の出入りも多いため、お互いを守るための方法として導入。

また今後の新しい事業形式として、効率化、省エネ、エコの観点から小規模の会社ではあるが一步挑戦してみようと考えたため。

テレワークの実施概要

■実施期間

R2.6.1～

■これまでの利用人数等の実績

技術職のため、整備士の在宅勤務は難しいが、事務員に関しては可能な部分もあるため、事務1人のテレワークを実施。通勤にかかる時間や通勤に関わるガソリンの不要から、効率化や地球環境保全に繋がっていると考えている。

■テレワークを実施した部門、作業概要

テレワークを実施した部門は事務。作業は請求書等書類作成。

■使用したICTツール、設置費用

使用したツールはPC。設置費用は自宅PC使用のため現在のところなし。

■工夫したこと

逆に事務作業のプリントアウトなど、テレワークではない社員の新しい仕事が増えたため、それについてのサポートをし、スムーズな作業完了に向けてサポートを行った。

テレワークに関する社員の声

- ・時間を有効活用できるようになった。
- ・移動が減ったのでストレスが減った。
- ・ITの苦手なスタッフも少しIT作業ができるようになってきた。

@社内での様子

事務員がテレワークになったことで整備士が事務補助を行う様子。



テレワークの成果

- ・出勤しない働き方を少し無理があっても導入することで、新しい事業形態を学べた。
- ・家にいる時間が増えたことで、家族との時間を増やすことができた。
- ・通勤時間の短縮で時間を有効活用できるようになった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・テレワークでの新たな機械操作を整える必要がある。
- ・停電時の対策を考える必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・少ないスタッフではあるが、みんなが健康で働いていけるよう、来客の多い時期には積極的にテレワークを活用し、新型コロナウイルスに対して安全な会社を継続していきたい。
- ・今後期待することは通勤回数が減り、地球環境の改善に少しでも役立ちたい。

(株)ネクストステップ

所在地: 旭川市神楽岡6条6丁目
連絡先: 0166-85-7780

業種・事業概要

パソコン・ビジネス教室 ネクストステップ
ラーニングカレッジを運営し、個人向け研
修や企業の従業員向けの研修、公的職業
訓練の受託・実施、各種試験会場の運営、
キャリアコンサルティング等を行っている。

従業員数

2名

資本金

1,990,000円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの影響が長期化する見込みとなっている現状のため、このような状況下でも、事業の継続が可能となるよう、テレワークを導入。

新型コロナウイルスの感染防止以外にも、業務効率の向上、従業員の通勤時間の削減、ワークライフバランスの向上にも役立っている。

また、社内体制が整備されたことから、人材の確保等にも一役を担うことが想定される。

テレワークの実施概要

■実施期間: 令和2年6月

■これまでの利用人数等の実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減のため、全体で5割の出勤率の低減を目標として、最低全社員が週1回以上取り組むこととした。実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルール、就業規則等を策定、周知した上で、シンクライアントシステムによるテレワークを実施。令和2年7月上旬までに、全職員5割強が実施している。

■テレワークを実施した部門、作業概要

講師兼、事務部門にて、事務作業、顧客・従業員打ち合わせ、講習準備、Webページの修正、広告・POPの作成、電話対応、メール応対等の業務を在宅・モバイルワークとして実施。

■使用したICTツール、設置費用

社用ノートPCと、シンクライアントシステムを使用し、在宅でも出勤時と同様の環境を用意。勤怠管理はメールで行い、業務進捗管理はLINEやWeb会議システムを利用。

費用としては、取り急ぎ既存のPCを使用したことと、ツールは無償の範囲内での利用で済んだため無料で済んだが、専用の端末を購入した(10万円×2台)

■工夫したこと

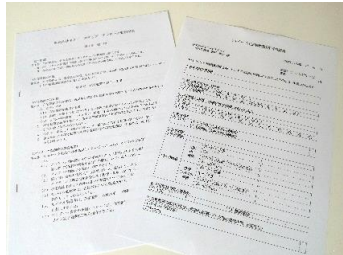
規程の策定時から従業員の意見を盛り込み、運用方法、テレワークの目的と心構え等の社内研修を実施した後に導入した。また、実施者には、専用PCを貸与し、負担軽減を図った。

テレワークに関する社員の声

- ・最初は自宅で仕事をすることで集中できるか不安もあったが、慣れると会社で作業するのと同じように集中して仕事に取り組むことができた。
- ・また、テレワークにより往復の通勤時間がなくなり、出勤していた時よりも1日の中で時間的な余裕ができ、心にゆとりが持てるようになった。
- ・テレワークに使用する機器を会社から無償貸与してもらったことで、家族がパソコンを使いたいときも、専用のパソコンがあり、仕事に集中でき、大変助かった。
- ・ストレスの軽減のおかげか、出勤時に笑顔を見せる機会も多くなり、エンゲージメントの上昇が感じ取れた。

▶テレワーク

- ・就業規則
- ・申請書



▶職場環境



テレワークの成果

- ・コロナの感染拡大に対し、休業、解雇を行わずに、事業を継続することができた。
- ・コロナ対策として臨時の活用を予定していたが、職員から「働きやすい」、「今後も継続して欲しい」という反応があり、好評であったことと、継続するためにもテレワークで実施できる業務を増やしていく方向となった。
- ・WLBや、事務所の必要性、総合的な働き方を見直すきっかけとなり、今後、フレキシブルな就労形態・体制を整え、従業員のストレスが軽減できるよう会社として取り組むこととなった。
- ・各従業員の状況に合わせてテレワークを実施することで、業務に穴をあけず、遅延もせずに済むようになり、従業員のストレス軽減による雇用の定着、自発的な積極性の向上につながった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・通常業務ではなかなか行わない、無線LANの構築や設定方法がわかる人材でなければテレワークは難しいため、従業員の育成計画を見直す必要がある。
- ・今後も継続して実施していくために、通常業務をどれだけテレワーク化できるかを、従業員からの意見も聞きつつ継続していく必要がある。
- ・業務時のトラブルや相談事に対するレスポンスが遅れることや、全社のスケジュールの共有に対する問題が懸念されるため、使用するツールも含め検討する必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の感染拡大の影響に備えることと、従業員一人一人のライフスタイルに柔軟に対応するため、より良い運用方法や設備の導入を行い、感染拡大の影響を最小限にし、従業員のモラルの維持・向上に役立てていきたいと考えております。
- ・対面で行わなければならない業務と、対面でなくともよい業務を分け、可能な限りテレワークで業務を実施できる体制を整えていきます。
- ・既に上記の取り組みに取り掛かっており、講習もオンラインでリアルタイムで行う方法や、動画を閲覧する方法での実施、キャリアコンサルティングもオンラインでの実施、他企業からの動画配信を支援するサービス等を開始しており、今後さらなる周知や活用を行っていきます。

業種・事業概要

情報処理サービス業

- ・GIS(地理情報システム)事業
上下水道関連、都市計画関連
- ・上下水道事業
- ・Webシステム開発事業
- ・ソリューション事業

従業員数

13名 R2.6.1現在

資本金

1,000万円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染リスクを抑える為、自宅就業させる事を目的とする。また働き方改革として作業効率を確認する。

情報通信技術(IT)を活用し、場所や時間を有効に活用する柔軟な働き方を実現することで社員が個々のワークスタイルを実現し、仕事と育児、仕事と介護の両立を促進することを目的とする。また、自然災害やウィルスの感染症対策など会社への通勤が不可能もしくは出勤の回避が必要な場合、自宅より就業できる勤務形態を確立することも目的とする。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年7月6日～

■これまでの実績

- ・テレワーク勤務規程の策定(セキュリティ対策・実施ルール策定)。
- ・上記に伴う就業規則の改訂。
- ・職場出勤率を全職員の8割減を目標とし、全社員が週1回以上テレワークを実施。
- ・クラウド版グループウェアの導入により、情報共有とワークフローのペーパーレス化の実現

■テレワークを実施した部門、作業概要

- ・GISデータ入力部門 → 事務所システムサーバーへアクセスしデータ入力、Web会議での打合せ。
- ・システム部門 → 事務所システムサーバーへアクセスし、データコンバート処理、Web会議での打合せ。

■使用したICTツール、設置費用

試験的に実施するため、WEB会議ソフトウェアは無償のものを使用。クラウド版グループウェア、VPNルータ5万円・WEB会議用モニター55インチ7万円を購入。

■工夫したこと

テレワーク実施にあたり、混乱しない様先に規程を策定し周知させた。

テレワークに関する社員の声

- ・職場での集団感染リスク低減となること以外に、出退勤の移動時間が削減され時間にゆとりができた。
- ・Web会議システムやグループウェアを活用することで、事務所勤務時と変わらない意志疎通がとれることが分かった。
- ・時間にゆとりができ、家事や育児に充てる時間を増やす事ができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の対策以外にも、育児・介護の為会社へ出勤する事が難しい状況の職員であっても、テレワークであれば十分に勤務可能であることが分かった。
- ・自宅に籠っての作業となる為、気分転換や体調管理の必要性を感じた。

テレワークの成果

- ・新型コロナウイルス感染者が出なかった。
- ・当社の業務はテレワークでも大きな問題なく作業できる事が解り、働き方を見直すきっかけとなった。
- ・休業、遅延することなく業務を遂行できた。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・テレワーク時の勤務状態が見えない為、勤務評価としては成果を重視せざるを得ない。
- ・インターネット経由で事務所システムサーバにアクセスし、データ入力を行ったが社内での入力に比べてレスポンスが遅くなってしまう事が判明し、同様のレスポンスとするには対策が必要である事が分かった。
- ・Web会議システムやグループウェアを活用することで、意志疎通はとれるが直に会ってのコミュニケーションと比較するとやはりもの足りなさを感じる。
- ・自宅に籠っての作業の為、状況が見えず、職員の体調管理に気を配る必要がある。
- ・PC以外にもテレワーク環境(部屋・椅子・机)を整備する必要がある。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・新型コロナウイルス感染症の終息時期が全く見えてこない中、テレワークによる柔軟な勤務態勢を今後も継続して整えていきたい。
- ・今後、育児と家庭、介護と家庭の両立などが必要な職員に対し、個々のワークスタイルに合わせた働き方を提示できるよう整備していきたい。
- ・職員の体調管理の方法や、コミュニケーションの取り方など課題もある。

有限会社ほほえみゆたか

所在地: 旭川市東光15-5-2-12

連絡先: 0166-37-8650

業種・事業概要

介護保険サービスを提供している。

- ・デイサービス(通所された方に入浴、運動、社会交流の機会を提供)
- ・グループホーム(認知症の方の生活の場を提供)
- ・居宅介護支援(介護について相談業務)

従業員数

54名(R2.6.30現在)

資本金

800万円



テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、テレワークが注目されていると聞き興味を持った。介護保険サービスは基本的に「人対人」のサービスのため、テレワークとは相性が良くないとの事前認識であった。しかし、社内検討の結果、介護保険請求、ケアマネジャーの相談記録入力など一部の業務でテレワークでも行えることが分かったため、今回のテレワーク導入に至った。

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年6月29日～

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、少しでも社内で集団感染するリスクを減らすことを目的とし、まずは事務部門で最低1人以上が週1回以上取り組むこととした。

実施に当たり、テレワークに関する一通りの社内ルールを策定・周知を行った。初めての試みのため、業務の繁忙の時期を避けてトラブルに迅速に対応できるようにした。

■テレワークを実施した部門、作業概要

事務部門において、経理・労務を中心に実施した。介護保険に係る請求業務は、介護保険関連法との兼ね合いがあり慎重な確認が必要なため、検討の結果、今回は対象外とした。

■使用したICTツール、設置費用

なるべく費用を抑えるため、現在使用しているシステムの機能、無償のツールを使用した。

・PCリモートデスクトップ : 「TeamViewer (TeamViewerジャパン社)」

・電話対応 : 「MOT/PBX・MOT/Phone (VALTEC株式会社)」

→ 内線・外線をスマホで取れるようにした。

・コミュニケーションツール : 「FaceTime (Apple, Inc.)」「LINE (LINE株式会社)」

→ 状況に応じてビデオ通話・メッセージのやり取りを行った。

・勤怠管理 : 「Work log (Manabu Hirata)」

■工夫したこと

・テレワーク実施者の負担を考え、短時間のテレワークからスタートすることとした。

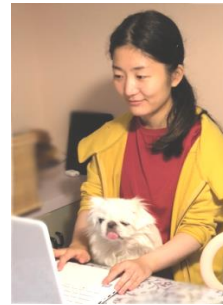
テレワークに関する社員の声

- ・体調が少しすぐれず職場に行くのを若干ためらう場合でも、テレワークだと他人にうつす心配がないため、気兼ねなく仕事に取り組めた。
- ・自宅で飼っている犬の体調がよくなく心配だったが、テレワーク中は犬に付き添いながら仕事ができ助かった。
- ・いつもと違う環境で気分転換となり、仕事の効率が上がったような気がする。
- ・介護業務がメインのため全てがテレワークに置き換わることはないが、働き方の一つとしてはありだと感じた。

社内にてFaceTime



コミュニケーション
中



犬と一緒に
自宅で
テレワーク

テレワークの成果

- ・介護においても一部業務はテレワークにて行うことが可能になった。
- ・感染者が多い地域へ出かけた職員は、今まで一定期間休みを取ってもらっていたが、テレワーク勤務とすることで休まなくても済むようになった。
- ・通勤する時間がないため、時間を効率的に使うことができた。
- ・今回のテレワークをきっかけとし、他の業務においてもICTツールの活用を検討しはじめた。具体的には、介護記録のペーパーレス化、外部との会議・利用者と家族の面会をビデオ通話で行えるよう環境を整えるきっかけとなった。

テレワーク実施に当たっての課題

- ・仕事とプライベートがはっきりと分けることが難しい面があった(実施者の意見)。
- ・ビデオ通話中の自宅での生活音、室内の映り込みに気を遣った(実施者の意見)。
- ・介護保険制度、介護保険関連法はテレワークを想定したものではないため、テレワーク勤務が施設基準・人員基準においてどういう取扱いになるか今後確認が必要。今回は、経費のインターネットバンキング処理、給与計算など確認の必要がない業務を行っている(会社の意見)。

テレワークの今後の活用法、 期待すること

- ・自宅の通信環境が十分でない職員もいるため、ポケットWi-Fiの貸与など会社からの支援を検討したい。
- ・タブレット等、通信端末の増台の検討。
- ・年齢の高い職員や、通信端末の操作が苦手な職員へのレクチャー体制を整える。
- ・介護業界は万年人手不足のため、働き方の一つとしてテレワークも可能というところを特色として、求人を出す際にアピールしていきたい。
- ・介護事業者がテレワークを導入する場合のルールを行政側(厚生労働省や保険者)で示してほしい。



(株)ライナーネットワーク

所在地: 旭川市5条通10丁目
854-1
連絡先: 0166-23-2006

業種・事業概要

- ・旭川近郊のフリーペーパー「ライナー」の編集・発行
- ・印刷物・ロゴマークのデザイン
- ・道北のコミュニケーションサイト「ライナーウェブ」の運営
- ・ウェブサイト作成、インターネット広告
- ・チラシの折込、ポスティング
- ・エリアマーケティング
- ・イベント企画



従業員数

43名

資本金

1,000万円

テレワーク導入の経緯・目的

1. 非常時の事業継続に備えて
2. 多様な働き方

テレワークの実施概要

■実施期間

令和2年9月

■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、多くの社員がテレワークでも業務を進めることができるように、それぞれ1日～5日程度のトライアルを実施していました。今回、正式にセキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールや在宅勤務に関する規程を策定しました。引き続き、業務のペーパーレス化やクラウド化を進めております。

■テレワークを実施した部門、作業概要

事務職、専門職などのデスクワーク中心の社員はもちろんのこと、普段は外勤が多いプランナー社員も在宅で顧客対応をおこなってもらいました。

■使用したICTツール、設置費用

社内ネットワークにはVPNで接続し、チャット、グループウェア、Web会議は以前から社内ですべて利用しています。
PCも普段使用しているものを持ち帰り対応しました。

テレワークに関する社員の声

- ・作業に集中できたので、会社にいる時より制作物をつくれた印象です
- ・ネット環境に関して通信速度もそんなに遅くなくスムーズ
- ・会社と変わりなく業務に集中して取り組むことができた
- ・クライアントによっては、来てほしいという声があるため調整する必要がある
- ・通勤時間がないのはうれしい

テレワークの成果

- ・緊急事態になっても業務を継続できる体制が構築できた
- ・新しい働き方導入への可能性を見出すことができた



テレワーク実施に当たっての課題

- ・通信環境が必ずしも全員が安定しているわけではない
- ・雑談で生まれるようなアイデア創出機会が減ってしまった
- ・自宅からではFAX対応ができなかった。(今はペーパーレス化し解決済み)

テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・社内外含め関係者の理解と協力あれば、会社にいるときのように業務を進めることができそうです。

引き続き業務の見直しを進め、柔軟で強い業務体制を構築していきたいです。

株式会社ルシダス

所在地: 旭川市西神楽2線24号
連絡先: 050-5577-0640

業種・事業概要

マーケティング戦略コンサルティング。
お客様の商材の売上アップを目的に、様々なオンライン上のコミュニケーション施策のコンサルティングを実施している。



LUCIDAS

従業員数

16名

資本金

100万円

テレワーク導入の経緯・目的

弊社は元々テレワークには前向きで、吹雪や台風など通勤に危険が伴うような場合は事務所単位でテレワークをしたこともあった。今回の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、初めて継続的なテレワーク体制となったが、テレワークに必要なICTツールや機器類なども導入済みだったため、スムーズに業務を回すことができています。

テレワークの実施概要

新型コロナウイルス感染症の流行に伴うテレワーク体制

* 実施期間

令和2年7月5日～8月1日(実際の実施は弊社営業日のみ)

* これまでの実績

職場での感染リスクを減らすため、社員をAチーム、Bチームと2つに分け、1週ごとに交代で出勤する体制にした。テレワークに使用するICTツール、機器類はすでに導入済みだったため、テレワーク中の社員と出社している社員との間の連絡もスムーズで、特に業務に支障が出ることはなかった。

* テレワークを実施した部門、作業概要

旭川オフィス勤務のPMチーム(プロジェクトマネジメント、制作部門)、バックオフィス(経理、総務)。PMチームメンバーは、東京オフィスの営業チームやお客様ともICTツールで連絡を取りながら作業している。バックオフィスは2名なので、1名ずつ交代で出社し、他の出社メンバーの勤務状況に目を配れる体制とした。

* 使用したICTツール

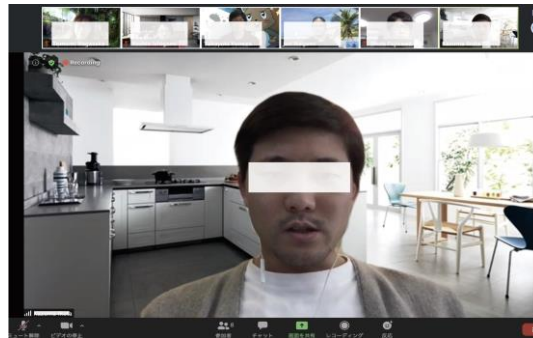
ZOOM(ミーティング)、Slack(業務連絡)、Backlog(業務進行管理)、Kintone/freee(労務管理) 他

* 工夫したこと

月初から月末までテレワークだった場合、借上手当を支給し、自宅の通信費や光熱費の補助とした。

テレワークに関する社員の声

- * 通勤に時間を取られないので、空いた時間を勉強や趣味に活用できる。
- * 昼休みなど、隙間時間に家事ができる。
- * 多少終業が遅くなっても、移動が無いため時間に余裕がある。
- * ずっと家にいるため、気分転換が難しい。
- * 自宅のネット回線が遅いため、ミーティングなどで不具合が生じることがある。
- * 運動不足になるので、積極的に体を動かす工夫が必要。



テレワークの成果

- * 今回テレワークで使用したICTツール類は、すでに旭川オフィス、東京オフィス間で業務連携するために導入済みだったため、特に目新しいことはなかった。
- * 継続的にテレワークを実施するのは初めてだったが、1週おきに、出勤週、テレワーク週となる体制だったため、生活にリズムが生まれ、余裕ができたように思う。

テレワーク実施に当たっての課題

- * 決まった業務を回す分には問題ないが、新たな仕事上のアイデアは雑談から生まれることも多いため、そういうところで支障がでる。テレワーク中でも気軽に雑談できるような場を設ける工夫が必要。
- * 郵便物の受け取りだけのために時々出社しなければいけないため、紙による書類のやり取りを減らすべく協議した結果、大多数のお客様とはデータのためのやり取りで手続き等が成立するようになったが、行政とのやり取りだけはいまだに改善できていない。

テレワークの今後の活用法、期待すること

- * 新型コロナウイルス感染者の増加具合によっては、全員常時テレワークにする体制も考えている。
- * 社員がテレワークに慣れておけば、在宅勤務社員の受け入れも容易になると思う。育児や介護など、何らかの事情で在宅勤務を希望する優秀な人材を受け入れる体制ができる。
- * テレワークに積極的な会社であることをアピールすることで、先進的で柔軟性のある社風をアピールでき、採用活動で応募者の増加に繋げることができる。
- * 新型コロナウイルス感染症の流行が収束しても、気分転換や生活の余裕のために時々テレワークを組み込むと良いと思う。
- * 社会全体にテレワークが浸透することにより、ペーパーレス化の促進や、書類への押印が減ることを期待している。

旭川市テレワーク導入奨励金 交付企業・団体一覧

No.	企業・団体名称	事業内容
1	有限会社 アウトバーン	保険媒介代理業
2	赤川建設興業 株式会社	建設業
3	株式会社 asatan	出版・情報通信業
4	旭川総合法律事務所	法律事務所
5	旭川通運 株式会社	運送業
6	旭川つばさ法律事務所	弁護士業
7	株式会社 アスクゲートダイナー	飲食店経営
8	荒木測量設計 株式会社	測量、土木設計、調査に関する業務
9	株式会社 E湯	高齢者介護
10	有限会社 池田給料サポート	事務委託業
11	有限会社 一村米穀店	米穀、灯油小売店
12	社会保険労務士法人 今井事務所	社会保険労務士事務所
13	有限会社 うらら	飲食業及び家事代行業
14	株式会社 エイベックスジャパン	情報支援サービス、市場調査等
15	株式会社 エイベックスエーディー	広告代理店業、広告デザイン業
16	有限会社 オフィスモリヤマ	介護事業
17	有限会社 ALLRIGHT	居宅介護支援事業等
18	特定非営利活動法人 カムイ大雪バリアフリー研究	障害福祉サービス事業(就労継続支援A型・B型)
19	株式会社 北野社	電気器具販売
20	有限会社 旭星システム	測量業
21	空間倉庫輸送 株式会社	運送業
22	有限会社 グローバル・保険	保険代理店
23	株式会社 里見土木設計事務所	建設コンサルタント(土木設計)
24	株式会社 柴滝建築設計事務所	建築設計・工事監理
25	株式会社 昇夢虹(しょうむこう)	商業デザイン業
26	有限会社 シャロ	給与計算等事務代行業
27	株式会社 須田製版 旭川支社	総合印刷業
28	株式会社 総北海	印刷業
29	株式会社 創明建築設計事務所	建築設計・工事監理・構造設計・構造計算・積算・パース他
30	第一警備保障 株式会社	警備業
31	株式会社 大志企画	衣料品企画製造販売
32	株式会社 大和	不動産業
33	千代田不動産 株式会社	不動産業
34	株式会社 ティンバーテック	測定機器の販売、ソフトウェアの開発
35	有限会社 デザインピークス	広告デザイン制作
36	株式会社 デジタライズ	ソフトウェア開発、データセンター運営
37	東武トップツアーズ 株式会社	旅行業 他
38	有限会社 ドルフ	不動産
39	なかせき商事 株式会社	石油製品販売業
40	永山自動車ボデー工業	自動車整備
41	株式会社 ネクストステップ	パソコン・ビジネス教室
42	有限会社 ビーインフォー	情報処理サービス業
43	フォーデザイン 合同会社	木製品の製造、販売
44	有限会社 ほほえみゆたか	介護サービス
45	株式会社 MARVELOUS	美容室の経営、化粧品製造業
46	雄北 株式会社	木製品販売
47	株式会社 ライナーネットワーク	旭川近郊のフリーペーパー「ライナー」の編集・発行
48	株式会社 ルシダス	マーケティング戦略コンサルティング